

三重大学 教育学部

FACULTY OF EDUCATION GUIDE BOOK
学部案内 2026

な
先
生
に
う
!!

<https://www.edu.mie-u.ac.jp/>

教育学部HP携帯サイト



教育学部イメージ動画



教育学部学生座談会



 MIE UNIVERSITY
三重大学 教育学部

〒514-8507 三重県津市栗真町屋町1577
TEL. 059-232-1211(代)
<https://www.edu.mie-u.ac.jp/>

教育学部へようこそ

教育学部では、たくさんの分野を用意して、
教員を志望する皆さんをお待ちしております。

MESSAGE

学部長からのメッセージ

広い教養と高い専門性をもつ教育者を育てます。



三重大学教育学部は、教員養成を目的とした学部です。幼稚園・小学校・中学校・特別支援学校を中心に、未来の教育を担う教員の養成に力を注いでいます。

本学部では、三重県教育委員会や県内各市の教育委員会と連携し、教員として着任する時点で、教室や学校運営にスムーズに取り組んでいけるように、1年次から学校現場における教員の活動を体験できる「プレアシスタント」プログラムを実施しています。2年次以降も、学校現場における体験学修と学部での授業のつながりを重視したカリキュラムを構築しており、将来、三重県をはじめとする東海地方の教育課題に的確に対応できる力を育てます。

教員への希望を持って入学された新入生が、本学部で学ぶことで、教員としての必要な資質や能力を段階的に身につけることができます。それは、単に授業ができることや教室運営ができることだけではありません。学校は、子どもたちにとって社会そのものであり、教員の言動は子どもたちの心に深く影響を与えます。だからこそ、子どもたちが安心して学校生活を送るための資質や能力を備えておく必要があります。

将来の日本を支える子どもたちの基礎を形づくる義務教育や高等学校の大切な時期に、教員は授業はもちろん、学校生活のあらゆる場面で子どもたちに多くのことを示していく必要があります。みなさんが将来、子ども

たちの信頼を集め、誇りと自信を持って学校現場で活躍し、常に学び続ける意識を持って成長できる教員へと成長できるよう、教育学部教員一同、全力でサポートします。

子どもたちの未来を支える教育の道を、
三重大学教育学部と一緒に歩んでいきましょう。

教育学部長・教育学研究科長

宮岡 邦任



CONTENTS

学部長あいさつ	01
教育学部が育てる人物像	02
教育学部の5つの強さ	02
教育学部の5つの特徴	03
取得できる免許一覧	04
アドミッション・ポリシー ／ディプロマ・ポリシー	06
三重大学教育学部での 修学の流れ	07
国語教育コース	08
社会科教育コース	09
数学教育コース	10
理科教育コース	11
音楽教育コース	12
美術教育コース	13
保健体育コース	14
技術・ものづくり教育コース	15
家政教育コース	16
英語教育コース	17
特別支援教育コース	18
幼児教育コース	19
学校教育コース 教育学専攻	20
学校教育コース 教育心理学専攻	21
附属教職支援センター	22
入試情報	23
進路状況	25
Questions & Answers	27
コース別の進路状況	28
活躍する卒業生の声	30
キャンパスマップ	32
アクセス	33

教育学部が育てる人物像

教育学部の5つの強さ！

1 就職率が高い！

学校教育教員養成課程の令和6年度卒業者における公立小・中学校採用試験合格率は62.8%を超えています。

2 専門教育に強い！

教科別コース制になっているため、各専門教員による質の高い指導を受けることができ、教科と教育に関する高い専門能力を養うことができます。

3 教育実践力を高める！

1年次から学校現場に触れ、子ども理解を深め、学校教育活動を体験する教育実地研究に参加することによって、今後の教員に求められている教育実践力を身につけることができます。

4 地域との連携をはかる！

教育学部に隣接する学校園と連携して、学力向上・理科実験・体育活動・食教育等に関する教育活動を支援することを通して、学生の幅広い教育力の向上に努めています。

5 国際展開をはかる！

学校現場に多くの外国人が通学する地域の特徴に因るため、本学部では国際的な視野を持つ教員の養成をめざし、オークランド大学（ニュージーランド）や文藻外語大学（台湾）をはじめ多くの海外大学での教育に接する機会や、交換留学の機会を提供しています。

TOPICS

生きた教育を経験する教育実習

教育学部には、教育・研究・実践の補完施設として、4つの附属学校園（幼稚園・小学校・中学校・特別支援学校）と、附属教職支援センターがあります。3、4年次の教育実習は、主として4つの附属学校園で行われます。教育実習は、授業への取り組み方・教師観・子ども観・保護者観などの、それまでの学習成果について、再検討や反省をする貴重な体験です。そして、生きた教育の場で得られる多くの経験は、「教師になる」ということを再認識させ、勉学へのモチベーションを高める機会でもあります。



21世紀、子どもたちを取り巻く環境は大きく変わってきており、教師は教育現場で様々な問題に柔軟に対応する能力が求められています。三重大学教育学部では、地域と密接な連携を取りつつ、総合的な豊かな見識、感性、国際性、高度な専門的学識を身につけられるようにしていきます。

また、様々な教育問題、教育環境の変化に適切に対応できる創造性と問題解決能力を培い、力強くリーダーシップの取れる人材をPBL（問題／課題解決型学習）等を通じて養成していきます。

教育学部の5つの特徴！

1 高い教員就職率につながる手厚いサポート

教育学部では教員採用試験を受験する学生を対象に、教員採用試験合格のためのセミナー（教採セミナー）を開催しています。教採セミナーでは、学内模試や面接対策等を通して、筆記・論文試験、面接、模擬授業等の対策を行います。学校現場経験者を中心とした専任スタッフが、教員採用試験の日まで手厚いサポートを行い、高い教員就職率につながっています。

2 幅広い専門性と複数免許の取得

教育学部には、国語教育、社会科教育、数学教育、理科教育、音楽教育、美術教育、保健体育、技術・ものづくり教育、家政教育、英語教育、特別支援教育、幼児教育、学校教育といった多様なコースがあります。13のコースのうちいずれかに所属して学び、今日の学校現場で各教科を指導するための専門的な知識を得ることができます。4年間を通じて幅広い専門性を身につけられますので、複数の校種や教科の教員免許状を得ることも可能です。

3 教育実践力を育成するカリキュラム

教科及び教職に関する専門的科目の学習以外にも、学校現場での実地的な学習と省察を通して、実践的な教育力を身につけることが求められています。そのために、1年次の必修科目である「キャリア教育入門」を始めとして、4年間を通した系統的な学校現場体験及び教育実習によって、教育現場に通用する教育実践力を、計画的に身につけるカリキュラムが用意されています。

4 地域の学校・社会との連携

教育学部の北に隣接する一身田校区の4校（栗真小、白塚小、一身田小、一身田中）及び南に隣接する橋北校区の5校園（南立誠幼、北立誠小、南立誠小、西が丘小、橋北中）と連携して、各学校園の教育活動を支援するとともに、学生の教育実践力の育成をはかる取り組みが平成18年度から進められています。また平成29年には東紀州サテライト教育学舎を立ち上げ、教育支援を行うことで、地域で活躍する人材を育成しようとしています。

5 国際的教育環境の充実

国語教育コースでは、日本語教育に関する科目も開講し、日本語を母語としない人々への日本語教育の基礎力を持った人材を育成します。また、本学部では、海外の大学と提携して国際的な視野をもつ教員養成に力を入れており、オークランド大学や文藻外語大学、台湾の日本人学校での研修プログラムやベトナムやマレーシアの日本人学校での教育実践プログラムを実施しています。

取得できる免許一覧

所属するコース及び選修に応じて取得することができる教育職員免許状

コース	選 修	取得できる免許
国語、社会科、数学、理科、音楽、美術、保健体育、技術・ものづくり、家政、英語、学校教育	初 等 教 育	小学校教諭一種
国語、社会科、数学、理科、音楽、美術、保健体育、技術・ものづくり、家政、英語教育	中 等 教 育	所属するコースに対応した教科の 中学校教諭一種
幼児教育		幼稚園教諭一種
特別支援教育		小学校教諭二種 もしくは 中学校教諭二種 ＋ 特別支援学校教諭一種 (知、肢、病)



上記以外に取得することができる教育職員免許状

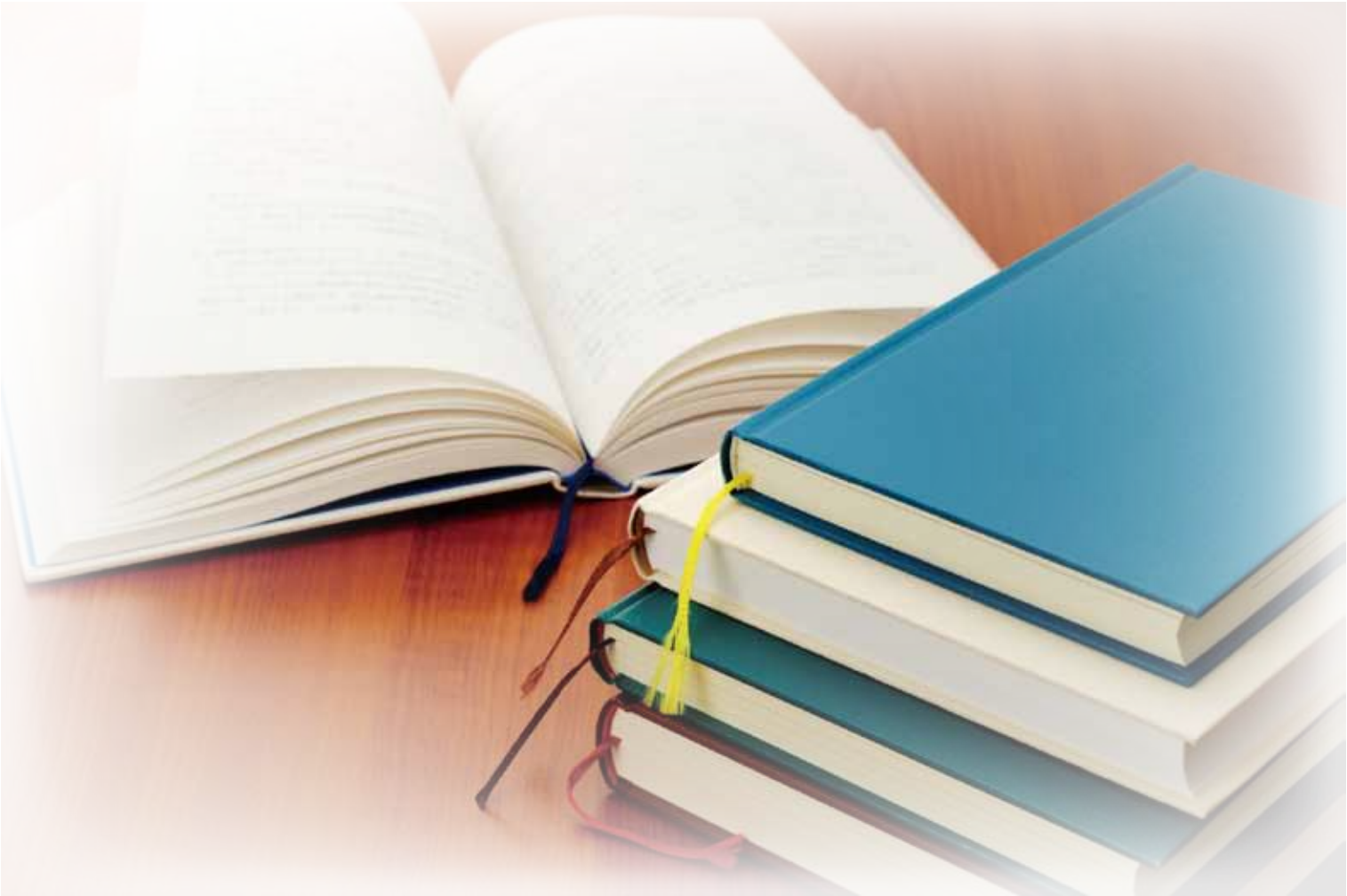
入学後のカリキュラム、時間割等により取得できる免許の種類やその数は異なります。
また、入学したコース・選修によって免許取得の難易度は異なります。
免許状は所定単位を取得することにより取得可能。

- 幼稚園教諭一種免許状・二種免許状
- 小学校教諭一種・二種免許状
- 中学校教諭一種・二種免許状
(国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、家庭、英語、技術)
- 高等学校教諭一種免許状
(国語、地理歴史、公民、数学、理科、音楽、美術、保健体育、家庭、情報、工業、英語)
- 特別支援学校教諭一種免許状・二種免許状
(知、肢、病)

取得することができるその他の資格等

資格等は所定単位を取得することにより取得可能。

- 保育士 (幼児教育コースの学生のみ取得可能)
- 学校図書館司書教諭



アドミッション・ポリシー／ディプロマ・ポリシー

このような人を求めます



このような人を育てます

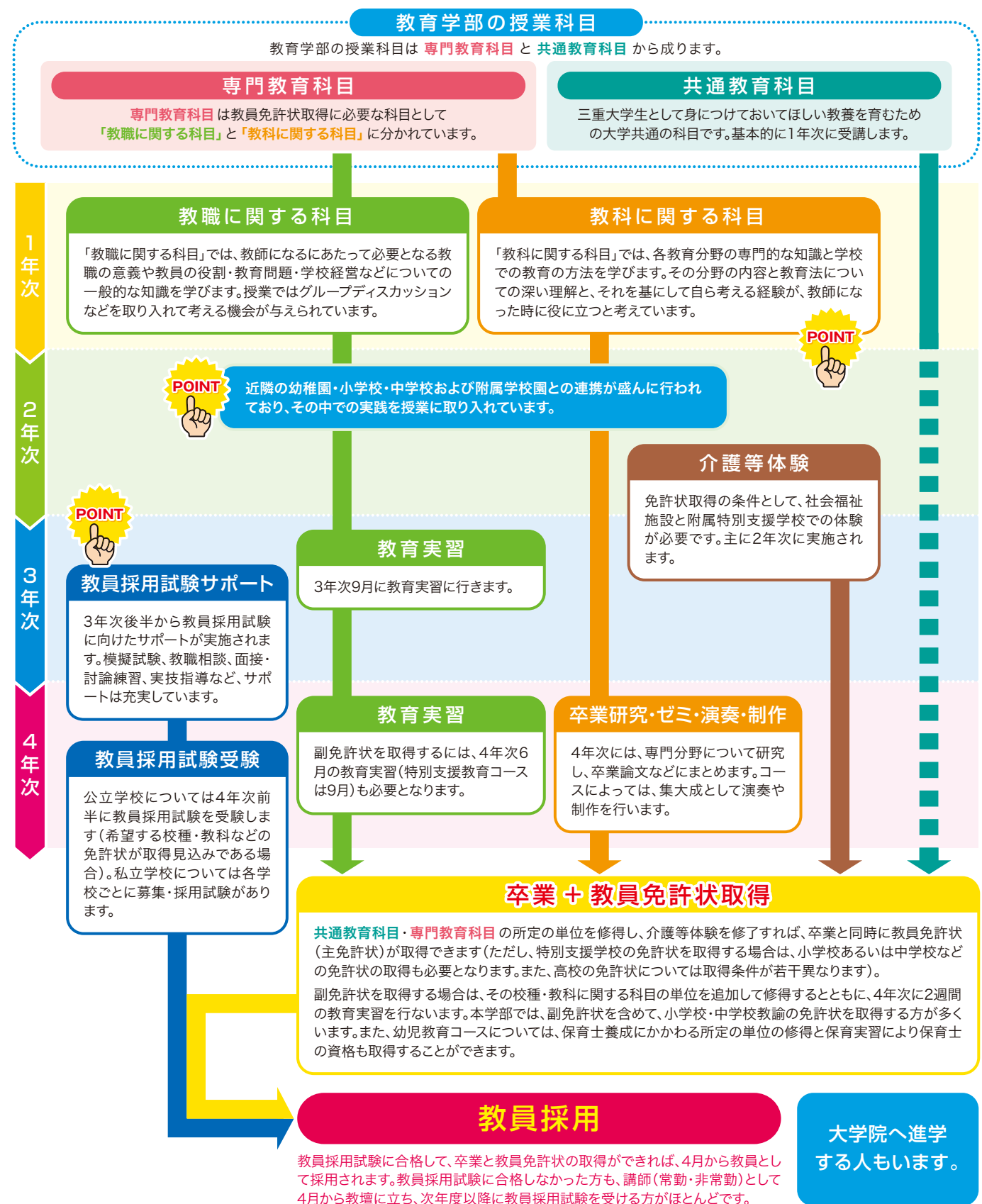


入学者選抜方針

一般選抜前期日程	志望するコース・専攻で学修するために必要となる総合的基礎学力を見るために、大学入学共通テスト(6教科7科目、6教科8科目、7教科8科目)を課します。また、論理的思考力・判断力、発想力、読解力、表現力、関心・意欲及び各コースへの適性等を見るために、個別学力検査(国語、数学又は英語から2教科の筆記試験、実技試験及び調査書等)を課します。
一般選抜後期日程	志望するコース・専攻で学修するために必要となる総合的基礎学力を見るために、大学入学共通テストを課します。また、論理的思考力・判断力、発想力、表現力、関心・意欲・態度及び各コースへの適性等を見るために、個別学力検査(実技試験、小論文、面接及び調査書等)を課します。
学校推薦型選抜 【大学入学共通テストを課さない】 【推薦Ⅰ】	技術・ものづくり教育(中等教育選修のみ)、学校教育(教育学専攻、教育心理学専攻)の各コース・専攻で募集します。志望する分野における学修への強い熱意と探究心、積極的で主体的に取り組む態度を見るために、個別学力検査(面接及び出願書類)を課します。また、志望する分野における専門的知識と幅広い基礎学力を見るために、個別学力検査(小論文)を課します。
学校推薦型選抜 【大学入学共通テストを課す】 【推薦Ⅱ】	家政教育コース(初等教育選修)で募集します。志望する分野における学修への強い熱意と探究心、積極的で主体的に取り組む態度を見るために、個別学力検査(面接及び出願書類)を課します。また、志望する分野で学修するために必要となる総合的基礎学力を見るために、大学入学共通テストを課します。
学校推薦型選抜 【大学入学共通テストを課す】 【地域推薦(三重県南部地域)】	国語教育、社会科教育、数学教育、理科教育、音楽教育、美術教育、保健体育、技術・ものづくり教育、家政教育、英語教育(いずれも初等教育選修のみ)、及び学校教育(教育学専攻、教育心理学専攻)の各コース・専攻で募集します。志望する分野における学修への強い熱意と探究心、積極的で主体的に取り組む態度、及び、三重県南部地域の小学校教育に将来的に貢献する意志の有無を見るために、個別学力検査(面接及び出願書類)を課します。また、志望する分野で学修するために必要となる総合的基礎学力を見るために、大学入学共通テストを課します。
学校推薦型選抜 【大学入学共通テストを課す】 【地域推薦(三重県全域)】	国語教育、社会科教育、数学教育、理科教育、音楽教育、美術教育、保健体育、技術・ものづくり教育、家政教育、英語教育(いずれも初等教育選修のみ)、特別支援教育、幼児教育及び学校教育(教育学専攻、教育心理学専攻)の各コース・専攻で募集します。志望する分野における学修への強い熱意と探究心、積極的で主体的に取り組む態度、及び、三重県の教育に将来的に貢献する意志の有無を見るために、個別学力検査(面接及び出願書類)を課します。また、志望する分野で学修するために必要となる総合的基礎学力を見るために、大学入学共通テストを課します。

三重大学教育学部での修学の流れ

入学時のコース・専攻および選修で免許状の種類が決まります。例えば、国語教育コース・中等教育選修に入学された方は、卒業時に主に中学校の国語教諭の免許状を取得することができます。ただし、さらに単位を修得することにより例えば小学校の教諭の免許状も取得することができます。前者のように入学時のコース・専攻および選修で決まり、卒業時に取得できる免許状を主免許状といい、後者のように、それ以外の免許状を副免許状といいます。以下に、卒業および免許状取得の流れの概略を説明します。



国語教育コース

【募集人員】
初等教育選修（前期11名、後期3名）、中等教育選修（前期7名、後期2名）



ことばを知ること、世界を知ること 子どものことばと心を育む教育を追究します

私たちは、ことばで考え、ことばで知り、ことばで感じ、ことばで発信します。国語科は、ことばを学び、ことばを探究する教科です。国語教育コースでは、教員としてそれを実現するための知見が得られます。

学びは、これまでもこれからもことばと切り離せません。幼児期から今までの学びをふりかえり、ことばが果たしてきた役割を考えましょう。あすの国語教育の扉をひらくのは、あなたです。国語教育コースでは、国語学・国文学・国語教育学・日本語教育学・書道について学びます。

小学校一種・二種、中学校一種・二種（国語）、高等学校一種（国語）免許を得られます。必要な単位を取得すれば、幼稚園一種の免許や学校図書館司書教諭の資格を取ることもできます。

国語学（日本語学）【日本語の文法、語彙、表記、音声、アクセント、方言】

「元気に働く」と「元気で働く」の違いは？「隣の客は良く柿食う客だ」等の早口ことばは、どうして言いにくいのか？日常的な具体例を挙げつつ、言語分析の方法を身につけ、現代日本語の特徴について考察を深めます。

国語教育学

子どもと教員と教材の一期一会の切り結びが、わたしたちの学びの場です。国語科とは何をどのように学ぶ教科なのか、小学校、中学校、高校の授業を実際に見て考えます。子どもも教員も成長できる授業をめざします。

日本語教育学

日本語教育の基礎知識を学び、日本語教授法や言語習得、日本の文化・社会や異文化への理解を深めます。



書道の授業



小学校での授業



国語科シンポジウム



小学校
多文化フーフ活動の準備

教員の声



● 守田 庸一 教授
もりた よういち
【担当科目】
初等教科教育法（国語）、
国語科教育法、
国語教育セミナー など
【専門分野】
国語教育学

みなさんは、どんな国語の授業を覚えていますか？教科書の文章を読んだこと、文法を勉強したこと、漢字の読み書きを教わったこと…。そうした授業をするために、先生には、日本語とその表現についての深く広い知識が求められます。また、一人ひとりの子どもには様々な背景があることを理解し、個の言語能力を把握した上で、状況に応じて多様な指導方法を実践できることも大切です。国語教育コースでは、日本語にかかわる専門的な内容を学習するとともに、国語の授業のありかたを考えたり、実際の授業を参観したり行なったりすることなどを通じて、国語科を担う教員に必要な知識と力量を得られます。

学生の声



● 西尾 咲穂 さん
にしお さほ

私たちは日々「聞く・話す・読む・書く」という言語活動を通して国語力を育んでいます。この力はすべての教科に結び付き、学びの基盤となる重要なものだと思います。国語教育コースでは、これからの時代に必要な国語力をつけるためにどのような教育を目指していくべきかを仲間と一緒に深く考えたり、話し合ったりすることができます。また、私たちが今まで学んできた教材（『スイミー』、『モチモチの木』、『走れメロス』等）を分析し、教師の立場から教材の意味や指導法を考えていくことによって、今まで気づくことができました。毎年開催される「国語科シンポジウム」では、現職の先生方から直接話を聞き、意見交換をすることで、現在の教育現場の課題と向き合いながら学びを深めていくことができます。他学年と交流できるイベントもあるため、横のつながりはもちろん、縦のつながりも強く、とても仲が良いコースです。私はここで切磋琢磨しながら共に成長していくことができる仲間に出会うことができました。ぜひ私たちと一緒に国語教育コースで学び、充実した大学生生活を送りましょう！

取得できる免許

初等教育選修は小学校、中等教育選修は中学校（国語）の免許を取得します。ただし選修に関わらず、多くの学生が両免許を取得しています。また、高校（国語）の免許を取得する学生も多くなります。その他、特別支援や幼稚園、他教科、司書の免許・資格を取得することも可能な場合があります。

社会科教育コース

【募集人員】
初等教育選修（前期8名、後期2名）、中等教育選修（前期5名、後期2名）



社会を見つめる知と技をみがき、社会科を専門とする教員として 必要な「教科力」を身に付ける

社会科（地理歴史科・公民科）教育を専門とする教員に必要な能力である教科力を身に付けるため、社会諸科学を中心とした学問を専門的に研究し、教育実践にいかすために5つの分野について学びます。

社会科教育コースには、中学・高校の頃から社会科が好きだった学生が集まっています。教員としての専門性を高めるため、学生は社会科学、歴史学、地理学、哲学・倫理学いずれかの専攻に所属し、学問を背景とした教育・研究活動に日々励むことになります。

一年次は共通して社会科共通のオリエンテーション科目を、二年次から本格的に専攻を中心とする専門教育科目を、三年次は社会科授業についての教科教育法を履修します。また、卒業論文のテーマを選定し、四年次に卒業論文の作成に取り組みます。

教員に必要なとされる資質・能力には時代を超えて変わらないものもある一方で、とくに現代社会においては、時代の変化に即応する柔軟性も求められています。社会科教育コースでは、そうしたいわば人間力を身につけるべく、学生と教員がともに学んでいます。



プレゼンテーション力を
育成する授業



ゼミ卒業発表会



ゼミ研修発表会



社会科教職セミナー

教員の声



● 内田 秀昭 教授
うちだ ひでおき
【担当科目】
経済学原論、経済学演習、
経済学特殊講義
【専門分野】
経済成長理論、マクロ経済学

社会の状況は日々めまぐるしく変化しています。私たちは激動の社会を生き抜くために、その流れに柔軟に適応し、強靱な社会を構築していく必要があります。そのため学校教育に携わる人たちも、社会の変化に敏感に捉え、教育活動に反映させていくことが求められています。社会科教育コースでは、高校までの科目選択にとらわれることなく、バランスの取れた社会科の総合力を養うと同時に、ゼミに所属して調査・研究活動を行うことで、専門性の高い「教科力」の習得を目指しています。そこでは多彩なカリキュラムが用意され、政治や経済といった現代的な諸課題、地理・歴史や哲学のような空間的・時間的な視点や思想的営為など、様々な角度から社会について学べるようになっています。これらを通し、現代社会を力強く生き抜き、教育界に適應できる、社会科や学校現場を担う力量を持った人材を育成しています。

取得できる免許

初等教育選修は小学校、中等教育選修は中学校（社会科）の免許を取得します。ただし選修に関わらず、ほとんどの学生が両免許を取得しているほか、計画的履修を心がけることにより、高校（地歴・公民）の免許や、その他の免許（特別支援など）を取得する学生もいます。

学生の声



● 那須 海太 さん
なす かいた

こんにちは、教育学部社会科教育コースです。このコースは名前の通り社会科の教員を目指す学生が多く在籍しています。このコースの特徴として一番に挙げられるのが、大学の醍醐味であるゼミが2年生から始まるという点です。日本史・東洋史・地理・哲学倫理・経済・政治の6つのゼミに分かれて勉強します。1つの分野がおよそ10人弱の学生と教員で構成されており、先輩・後輩、先生方との繋がりが強くなるのも他のコースと異なる点です。社会科コース特有の授業として、1年生の前期後期にわたって行われる社会科入門というものがあります。ここでは、高校迄では学べない、また大学や社会で求められる会話力や文章力を鍛えられます。ディベートやスピーチ、作文等が主な内容です。皆さんと一緒に社会科で成長させませんか。

数学教育コース

【募集人員】

初等教育選修（前期11名）、中等教育選修（前期10名）



明るく元気に、そして楽しく数学を勉強したい
小中高の教員志望の人に向いているコースです

4年間をかけて数学を系統的に学びます。

また近隣の小中学校で児童や生徒とふれあったり、現職の先生のお話を聴いたりして、教師としての実践的な指導方法も学びます。

少人数ならではの縦と横のつながりが強く、にぎやかな雰囲気の特徴です。成績評価の厳しい先生が多く、試験前に学生は勉強をします。宿題の量も多いですが、分からない問題があってもみんなで助け合い、先生も親切に面倒を見てくれますから、数学の実力を伸ばせます。

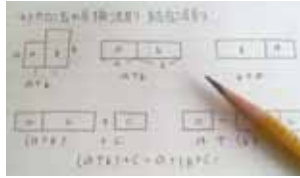
ここで数学を勉強しませんか。教員採用試験の合格率も良好です。



「さあ、一緒に楽しもう！」
教師になろう！



先生と子どもたち



「数学科教育法」のノート



教師を目指す学生さん
入学を待っています

教員の声



● **田中 伸明** 教授
たなか のぶあき
【担当科目】
数学科教育法Ⅰ、Ⅱ、数学講義、
初等教科教育法（算数）など
【専門分野】
数学教育学、教科教育学、
数学教育史研究

「マセマティクス（数学）」という言葉は、古代ギリシア語の「学ばれるべきもの」を示す「マテマタ」に由来します。数学は、それ自体が現実を超越した学問であると同時に、現実の問題を解決する有効な手段でもあるのです。したがって、誰もが幸せな人生を歩むために、数学は不可欠なものと言えます。

「数学を学ぶ目的が分からない」という人がいますが、突き詰めて考えると、それは「マテマタ」の語源が示す通り、知をもった人類が幸せに生きるためには「学ばべきもの」なのだ、私は考えます。

しかし、何のために数学を学ぶのか。その問いに対する答えは、百人百様、それで良いと思います。広大で自由な宇宙が、数学には広がっているからです。私たちは、算数・数学科の教員を目指す「数学大好き人間」の集まりです。数学の楽しさを、学校でこどもたちと共有したい!!そんな志を持った仲間、さあ〜集まれ!

学生の声



● **庄司 晴翔** さん
しょうじ はると

「数学教育コース」では、数学の奥深さはもちろん、教育の在り方や子供たちの特性について学ぶことができます。具体的には、「解析学」、「代数学」、「幾何学」、「応用数学」、「数学教育学」という、複数の単元に特化した科目を学修していくことになります。難しい内容は少なくないですが、高校で学ぶ数学を問題演習だけで済ませず、考え方もしっかり理解しておく、大学数学の内容にも、面白さにも向き合うことができます。

また、教育学部では子供についての理解を深めることができます。他コースの同期と一緒に、子供への対応や、子供の特徴を学びます。算数や数学に関する授業でも、児童・生徒に伝わりやすい解き方や、その本質的な教え方を考えるための時間があります。

数学のことや、教員になることに自信がないかもしれませんが、同期とのつながりが強いコースです。（元文系の私でも、同期と互いに支え合いながら、学習を進めてきました。）また、先輩や教員とのつながりも強く、ボウリング大会やスポーツ大会も行っています。分からないこと、不安なこと、困ったことも手厚く周りが支えてくれます。

取得できる免許

初等教育選修は小学校、中等教育選修は中学校（数学）の免許を取得します。どちらの選修の学生も、必要な単位を修得すれば両免許を取得できます。また必要な単位を修得して高校（数学）の免許を取得できます。さらに必要な単位を修得して高校（情報）の免許が取得できるように配慮されています。

理科教育コース

【募集人員】

初等教育選修（前期10名）、中等教育選修（前期9名）



日本と子どもの未来を拓く理科教師になる4年間

小・中・高等学校における理科教育の方法や、その背景となる科学知識の習得のために、理科教育コースには5分野・6研究室があります。理科教育コースの学生は2年次からどれか一つの研究室に所属し、各分野の専門知識の習得と同時に、学校教員になるための教育技能を身につけます。本コースの学生は教育実習以外にも、県内の小学生向けの科学教室などに参加し、子どもたちに理科の面白さを伝える技能を積極的に磨いています。最近3年間の卒業生54名のうち、31名が教員（小学校17名、中学校12名、高校2名）となっています。

小・中・高等学校における理科教育の方法や、その背景となる科学知識の習得のために、理科教育コースには、右記の5分野・6研究室があります。理科教育コースの学生は2年次からどれか一つの研究室に所属し、各分野の専門知識の習得と同時に学校教員になるための教育技能を身につけます。本コースでは教育実習以外にも、県内の小学生向けの科学教室などの教育実践の機会があります。学生はこのような催しに数多く参加し、子どもたちに理科の面白さを伝える技能を積極的に磨いています。

本コースでは小学校一種・二種、中学校（理科）一種・二種、高等学校（理科）一種免許を得られます。必要な単位を取得すれば、幼稚園一種免許なども取ることもできます。



出前科学教室



理科実験（物理）



教育実習



野外実習

教員の声



● **國仲 寛人** 准教授
くになか ひろと
【担当科目】
基礎物理学A、物理学講義Ⅰ、Ⅱ、
理科実験Ⅰ、物理学実験 など
【専門分野】
統計物理学・物理教育

物理は、自然界の不思議を解き明かす鍵となる学問です。「どうして月は落ちてこないの?」「音はどうやって伝わるの?」そんな疑問を、理論と実験を通して理解していくことは、大きな学びの喜びにつながります。そしてその学びの喜びを、将来子どもたちに伝えられるのが、理科の先生という仕事です。

理科教育コースでは、理科の各分野を基礎からしっかり学び、教育現場で活かせる知識と実践力を養います。講義だけでなく、実験・観察・教育実習といった多様な学びを通して、「教える力」を着実に育てていきます。

「わかる楽しさ」や「知る喜び」を子どもたちと分かち合いたい—そんな皆さんの想いに、私たちは真摯に応えていきます。未来の教室で、生徒の目が輝く瞬間を、共につくっていきましょう。

皆さんと三重大でお会いできる日を、心より楽しみにしています。

取得できる免許

小学校一種・二種、中学校（理科）一種・二種、高等学校（理科）一種免許を得られます。必要な単位を修得すれば、幼稚園一種免許や特別支援学校の免許等も取ることができます。

物理学

力学、電磁気学の初歩を学んだ後、熱力学、振動・波動、現代物理学等の講義を通して物理の考え方を身につけます。また、実験科目を通して、実験の方法論やコンピュータを用いたデータ解析の方法等を学びます。

化学

物質の性質を理解するための基礎理論から有機・無機物質の性質までを、講義・実験・演習を通して体系的に学修します。また、実験では基本的な操作法や安全に実験をする方法の習得にも力を入れています。

生物学

分子レベルから生物群集レベルまでの基礎的知識と理解のために、講義・実験・演習・卒業研究を体系的に学修します。また、身近な動植物を扱った観察・飼育・栽培・調査や、教材開発にも力を入れています。

地学

宇宙科学、地質学・古生物学等の地学の諸分野を中心に高校で地学を履修していないことを念頭に、講義・実験・演習を通して体系的に学修します。野外実習（天体観測や地層観察・化石採取）にも力を入れています。

理科教育

理科の目的、科学の本質、子どもの自然認識などの基礎的な内容をふまえた上で、子ども主体の問題解決（探究）、単元構想、教材研究、探究過程での理科の見方や考え方の駆動、評価、STEAM教育等、理科の学び方や授業づくりについて学修します。

学生の声



● **中村 美唯** さん
なかむら みゆ

理科教育コースでは物理・生物・地学・化学の4分野の講義と実験に加え、野外での植物観察や地質調査、長野県の天文観測所での実習など、大学の外に出て行う実験・観察もあります。

また、2年次以降は研究室（物理、生物、地質、天文、化学、理科教育）に所属し、各自の興味に応じて研究・実験を行います。そのほかにも、小学校での「出前科学教室」や「ジュニアドクター育成塾」など、子供たちに理科の面白さや楽しさを伝える多くの実践的な機会もあります。これらの機会を通して、教える立場として、どのようにすれば子どもたちが楽しく、興味深く、そして安全に学ぶことができるかを考えていきます。

私は大学での学びを通じて、小中学校時に感じた目の前で何が起きるのか分からないワクワク感や、実験が上手くできたときや新しい発見ができたときの興奮を思い出しました。

理科教育コースで私たちと一緒に、理科を探究しながら教師を目指してみませんか?

音楽教育コース

【募集人員】
初等教育選修（前期4名、後期3名）、中等教育選修（前期3名）



音楽の本当の面白さを 子ども達に伝えることのできる教師になるために

深く広い専門的知識と、理性に根ざした豊かな感性、そして科学的視点を重視した質の高い指導技術を備えた教員の養成を目指しています。
また、生涯学習を支援できる柔軟な思考・行動力のある人材の育成を図ります。

ピアノをはじめとする器楽の演奏法、声楽における発声及び歌唱法、それらを基盤とした合奏・合唱及び指揮法と、音楽理論とその発展にある作曲法を体系的に修めることによって、音楽の実技系各分野における専門性を高めます。

また、日本音楽の歴史や演奏法、音楽史などを学ぶことにより、様々な価値観や美学に触れ、個性的で柔軟な発想を育みます。さらに、講義やゼミナールで音楽教育学の理論や授業の構成法を学び、授業観察や模擬授業を通して実践的な指導力を身につけます。

小学校一種免許状、中学校一種免許状（音楽）、高校一種免許状（音楽）を取得することができます。努力次第では、他校種・他教科の免許状の取得も可能です。

音楽教育学

教育に関する理論を基盤として、教育課程の構造、授業の構成、教材に関する解釈等について学びます。また、音楽の各分野に関する基礎的知識および技能に基づき、総合的な実践力を身につけます。

作曲・音楽理論

楽を指導する立場にある者は、音楽の構造・成り立ちについて知っていなければなりません。作品に接するにあたり、どのように考えたらよいかを基本から取り組むために、「和声法」「作曲法」等の授業があります。



ソルフェージュ
日本音楽（三味線の実習）



小学校専門音楽
（弾き歌いの指導）



学生授業の様子

教員の声



● 上ノ坊 航也 准教授
うえの ぼう こうや
【担当科目】
音楽研究、音楽ゼミナール、合唱、
小学校専門音楽 など
【専門分野】
音楽・オペラ

「音の三要素」という言葉を聞いたことがありますか？音は「音程・音量・音色」の三つの要素から成り立っています。学校現場では、音楽の授業をはじめ、卒業式や文化祭など色々な場面で仲間と「合唱」をする機会がありますが、素敵な合唱を目指すことは本当に難しいことなのです。他人と一つのことを揃えるだけでも大変なのに、「音程・音量・音色」の三つが必ず揃っていないと音が一つにならないのです。しかし逆に言えば、この三つが揃うだけで素敵な演奏に繋がるといえることです。音楽は実は単純なのかもしれませんね。

音楽教育コースでは音楽における各専門分野と教育を学び、教育現場などで支援活動等を実践することにより、「音楽」を子どもたちに伝えることのできる人材の育成を目指しています。ほぼ自由に使用できる全室冷暖房完備の48室ある練習室、37台のアップライトピアノや6台のグランドピアノ、多種多様な教育楽器、そして歌声があふれる音楽棟で、一緒に音楽をし、音楽や教育について語りましよう

学生の声



● 櫻井 健人 さん
さくらい けんと

音楽教育コースでは、ピアノや声楽といった実技科目から作曲や音楽理論、また教師としての必要な基礎知識、指導法などを学びます。

1年生から実際に学校現場に出て活動する機会もあり、学んだことをどう指導現場で生かしていけるか実践できます。

音楽教育コースは、音楽とは何か、音楽を学ぶ意義といった根本の部分について考えることができます。1学年の人数は少ないですが、少ないからこそ、同期や先輩などと意見を交換し合い、お互いに成長することができます。

将来教員になりたい方や音楽の楽しさを子ども達に伝えたい方、ぜひ私たちと一緒に音楽教育コースで学びませんか。

取得できる免許

初等教育選修は小学校、中等教育選修は中学校（音楽）の免許を取得します。
音楽教育コースでは、ほとんどの学生が選修に関わらず両方の免許を取得しています。また、高校（音楽）の免許を取得する学生もいます。
音楽教育コースは、小学校と中学校（音楽）の免許を取得したうえで中学校（他教科）や幼稚園、特別支援など他校種の免許を取得する学生もいます。

美術教育コース

【募集人員】
初等教育選修（前期6名）、中等教育選修（前期3名）



美術の力と魅力！ それを知りそれを活かす教育の途がここにあります

美術の制作と理論の探究、美術教育の実践と理論の探究、というそれぞれの力量を高め統合した専門的能力を身につけるとともに、学校や社会教育現場で求められる高度な実践力を備えた教育者を養成します。

教育学部の特色を生かして制作と理論の両方の力量を獲得できるのが特色です。1年次から絵画、彫刻、デザイン、工芸、美術史・美術理論の各分野の専門的な制作と理論が学べます。2年次、3年次へと学びを深め、4年次に卒業制作が卒業論文のいずれかを選択し、専門的な研究を行います。

卒業生の多くは、小学校・中学校（美術）・高等学校（美術）の教員になります。



絵画の授業から



授業風景・デザイン



彫刻教室制作風景



卒業制作展（三重県立美術館）

教員の声



● 関 俊一 教授
せき しゅんいち
【担当科目】
絵画、版画、絵画演習 など
【専門分野】
絵画

美術教育コースでは、美術と美術教育を学ぶための充実したカリキュラムが組まれています。1年次は美術館での子供の活動の企画・実施、2年次、3年次は主に作品制作、4年次は卒業研究と美術・美術教育の様々な経験から、実践力と理論を発揮できる力を身につけます。それを支えるのが1年次から始まる美術の専門分野（絵画・彫刻・デザイン・工芸・美術史・美術理論）の専門的な学習と教科教育法の授業と教育実習の美術教育の学びであることは言うまでもありません。美術棟の各教室で専門分野の実技を基礎から学び、作品を制作することができます。学年を超えた繋がりや、学生と教員の懇切な関わりも魅力の一つです。

取得できる免許

初等教育選修は小学校、中等教育選修は中学校（美術）の免許を取得します。
その他、必要な単位を取得して、選修に関わらず、小・中両方の免許や、高校（美術）、中学校（他教科）、特別支援学校、幼稚園の免許が取得できます。

学生の声



● 中山 桜良 さん
なかもよ さくら

美術教育コースでは、教育を学ぶと同時に、専門的な美術のスキルも高めることができます。少人数のコースなので、きめ細やかな指導を受けられ、何より多くの経験を積むことができます。同期全員で切磋琢磨し成長していける環境がしっかりと整っているため、難しい事もあります成長が実感できる魅力的なコースだと思います。このように書くのと堅苦しいように思われたかもしれませんが、実際にやってみると全然違います。課題には時に厳しい評価もありますが、その分やりがいを感じています。同期の仲間は個性の集まりで、日々新たな発見と笑いを大切に輝かしいキャンパスライフを過ごしています。大学生生活の4年間はきっと忘れられない楽しく充実した時間になるはずです！

保健体育コース

【募集人員】
初等教育選修（前期6名、後期3名）、中等教育選修（前期5名、後期3名）



健康で運動好きな子どもを育てるために、 保健体育に関する様々な分野の学習をします

運動の楽しさやおもしろさ、精一杯体を動かすことの気持ちよさを味わえる、健康や体に関する正しい知識と実践力を持つ子ども。
本コースではそのような児童、生徒を育てる教員の養成を目指しています。

本コースでは保健体育に関する専門的な知識と実技能力を基礎として、高い授業実践力を養うための学修をします。専門的な知識を高める学問分野には保健体育科教育学、体育・スポーツ学、運動学、学校保健の各分野があります。取得可能な免許は小学校教諭、中学校教諭（保健体育）、高等学校教諭（保健体育）等です。

保健体育科教育学

学校教育における体育・保健体育の授業をどのようにデザインし、展開し、省察していくかということについて学びます。教材研究、授業観察、授業研究（模擬授業）を通して、保健体育科教育の目的、内容、方法を学び、体育担当教員としての専門的資質と実践的指導力を培っていきます。

体育・スポーツ学

体育やスポーツについて心理・社会・歴史・哲学などの視点から追求していきます。例えば実力を発揮する方法、人間関係や集団・組織のマネジメントのあり方や指導・支援方法、スポーツ振興政策の仕組みや現状、体育やスポーツとは何か、体育やスポーツの変遷等について紐解きます。

運動学

体や運動を科学する方法について学びます。体の機能や仕組みを理解し、様々な身体運動により体がどのように変化するか、スポーツの技術を習得する方法や指導法、運動のメカニズムを説明する方法や、各種スポーツの基礎となる多様なトレーニングの科学的方法等について学びます。

学校保健

子どもから成人を対象とした健康科学について学びます。例えば児童の運動量が減少している問題や成人の生活習慣病と運動の関連性を理解し、疾病予防や対策について考えます。



教員の声



● **水藤 弘史** 教授
すいどう ひろし
【担当科目】
運動方法学、水泳 など
【専門分野】
スポーツ・バイオメカニクス、
水泳の指導法

保健体育コースの学生は、保健体育の専門家として教員を目指す人たちが多数を占めていますが、実際には小学校教員になる人が多いようです。小学校において保健体育の専門性を持った教員は小どもの発育・発達に即した体力、運動能力の向上という観点から重要な存在だと考えます。また、中学、高校の保健体育教員を目指すには保健体育の専門家として、より良い授業ができることが不可欠です。どのような校種の教員を目指すにしても、本学での様々な授業、実技・実習、実践活動を通して専門的な理論に裏付けられた実技力・実践力を養いましょう。さらに、高度な専門性を身に付けるために大学院に進学する道もあります。

学生の声



● **吉岡 悠羽** さん
よしおか ゆう

保健体育コースでは保健体育授業に関する高い実践力を身につけることができることはもちろん、科学的根拠に基づいたスポーツや健康に関する知識を身につけ、実践で活用するためにはどのようにすればよいかわ、授業で深く考えながら学ぶことができ、とても面白く感じています。また、三重大学のどの学部学科よりも、学年を越えて仲が良く、とにかく明るくて笑顔が絶えないのも保健体育コースの特徴です。スポーツイベントを開催し、各学年で競い合うこともあります。私は、楽しむときは全力で楽しみ、やるときは切磋琢磨し合い、刺激を受けながら成長できる最高の仲間に出会うことができました。
体を動かすことが好き、運動やスポーツが好きというあなた、是非、私たちと一緒に明るく元気な大学生活を送りましょう！

取得できる免許

初等教育選修は小学校、中等教育選修は中学校（保健体育）の免許を取得します。
ただし選修に関わらず、多くの学生が両免許を取得しています。
また、高校（保健体育）の免許や幼稚園、他教科（中学校）の免許を取得する学生もいます。

技術・ものづくり 教育コース

【募集人員】
初等教育選修（前期5名）、中等教育選修（前期4名、推薦1名）



ものづくりの楽しさと、 技術の素晴らしさを伝えることのできる教師を目指して

将来、技術立国日本を支える子どもたちに、ものづくりの楽しさと、技術の素晴らしさを伝えることのできる教師を目指し、技術教育・STEAM教育を支える学問の理論と技能を総合的に学修します。

技術教育は、技術立国日本を支えるだけでなく、子どもたちの工夫創造の能力や実践的態度の育成など、人間形成の上でも大きな役割を果たしています。小学校におけるものづくりを含め、このような総合的な学習である技術教育・STEAM教育について学ぶのが技術・ものづくり教育コースです。本コースでは2年次より研究室に所属して、技術教育、材料工学、機械工学などの専門性を更に高めめます。

生活に密着する科学としての技術・ものづくり教育を、その理論・実践両面からのアプローチを通して深めていくとともに、それを支える材料加工、機械、電気、生物育成、情報に関する専門的な教育・研究を探究していきます。

技術科教育法

「技術」や「ものづくり」を対象とした教育における、教材や学習指導法、教授技術について実践的に学修します。

材料と加工

木材、金属、プラスチックと、目的により使用する材料も、加工法も異なります。また、材料の再資源化や廃棄物の発生抑制など、自然環境の保全等にも関係しています。このような材料と加工に関する技術について学修します。

機械

我々の身の回りにある工業製品全ての設計・製造・稼働・メンテナンスに関わる事項、またそれに必要となる基礎理論と応用技術について学修します。

電気

電気回路、電磁気の基礎をまず押さえた上で、講義と実験実習を通じて発電から最終的な利用までのエネルギー変換、身近なものの様々な産業で工夫・応用されている電気にまつわる事項について学修します。

生物育成

食料、バイオエタノールなどの燃料、木材の生産、花壇や緑地等の生活環境の整備など、生物育成が多くの役割をもつことについて実習を通じて学修します。

情報

情報に関する技術の進展が、社会生活や家庭生活を大きく変化させ、多くの産業を支えています。このような内容を指導できるよう、理論と実践を通じて学修します。

教員の声



● **松本 金矢** 教授
まつもと きんや
【担当科目】
機械工学概論、
機械工学実験実習、
工業力学、材料力学 など
【専門分野】
機械工学、技術科教育学

日本は世界で最も技術教育が貧弱な国です。ほとんどの国々では、小学校から高等学校まで技術教育が行われ、日本の数倍の時間学んでいます。自分の生活や自国の技術・文化は自分たちで支えるという意識を持つ若者は、是非ここ技術・ものづくり教育コースに来て一緒に学びましょう。高等学校までに学んだ知識を活用し、実社会に直接的に還元することができるのが技術・ものづくりの特徴です。未来を築く子どもたちに、生きるすべを与え疲弊した地球環境を改善する力を育成することができるのは、技術を学ぶあなたたちです。

学生の声



● **三木 海咲** さん
みき みさき

技術ものづくり教育コースでは、教育法をはじめ、生物育成、機械、金属、木材、電気、情報など幅広い分野を学びます。授業ではスピーカーやアンプの製作、機械の分解、野菜の栽培など実際に手を動かす実習が多く、楽しみながら知識と技術を身につけることができます。2年次からは研究室に配属され、専門的な学びを深めたり、卒業論文に向けて研究を始めたりします。少人数のコースだからこそ、先生方が一人ひとりに手厚く指導してくださるのも大きな魅力です。さらに学年を超えて仲が良く、先輩が授業や実習の内容、分からない所を教えてくださいるので安心して学べる環境が整っています。また、技術科の免許だけでなく、他教科の免許取得を目指す学生も多く、それぞれの目標に向かって学びを深めています。将来教員を目指している方や技術に興味のある方は、ぜひ技術ものづくり教育コースと一緒に学びましょう！

取得できる免許

初等教育選修は小学校、中等教育選修は中学校（技術）の免許を取得します。
ただし選修に関わらず、多くの学生が両免許を取得しています。
また、必要な単位を修得することで、高校（工業）や高校（情報）などの他校種・他教科の教員免許も取得可能です。

家政教育コース

【募集人員】
初等教育選修（前期5名、推薦3名）、中等教育選修（前期5名）



広い視野から人間の生活と環境を探究できる教員になるために

家政教育コースでは、日々の家庭生活や地域生活の中の様々な問題を、広範な視点と分野から、理論的・実践的に研究し、それらを家庭科に生かすことで、主体的に家庭や地域の生活を創造する資質・能力の育成を担える家庭科教員になることをめざして学びます。

家政教育コースは、家庭科教育、家庭経営学、被服学、食物学、住居学、保育学の6つの領域からなり、文系・理系どちらの分野の科目も必要なコースです。ほとんどの学生が小学校や中学校・高等学校家庭科の教員を目指しています。また、大学院へ進学し、家庭科の知識・技能を深める学生もいます。

家庭科教育

家庭科教育の理論と専門領域の知識を統合し、よりよい授業実践ができる力を育成します。主な授業科目は、家庭科教育法・初等教科教育法（家庭）です。

家庭経営学

システムとしての生活が安定するための知識を学び、豊かで創造的な生活について考えます。主な授業科目は、生活経営学概論・家族関係論・消費者教育論です。

被服学

衣生活に関する知識（デザイン・素材・設計・管理・衛生など）を学び、実生活に役立つ教育へ導くことを考えます。主な授業科目は、被服学概論・被服構成学・被服実習・衣生活科学です。

食物学

栄養・食品・調理に関する知識を学び、豊かな食生活について考えます。主な授業科目は、食物学概論・食生活論・調理実習・食物学実験です。

住居学

住空間・住生活に関する知識を学び、豊かな住生活について考えます。主な授業科目は、住居学概論・住居学実習です。

保育学

子どもに対する基本的な理解と関わり方を学び、家庭や社会における子育てについて考えます。主な授業科目は、保育学概論・家庭看護学です。



調理実習の様子



被服構成学の授業の様子



食物学実験の授業の様子



家族関係論で作成したリーフレット

教員の声



● **村田 晋太郎** 准教授
むらた しんたろう
【担当科目】
生活経営学概論、家族関係論、家庭科教育法
【専門分野】
生活経営学、家族関係学、家庭科教育学

家庭科では、家庭経営、衣食住、保育等の領域の学習を通して、一人一人の人間が自己実現をしながらよりよい生活や人生を送ることについて学びます。また生活を時間的・空間的に幅広く捉え、少子高齢化、環境問題、消費者問題などの社会的課題を視野に入れながら、生活と環境についても広い視野から学びます。

そして、実習や実験などの体験的に学ぶ授業、講義や演習などの理論的に深く探求する授業を通して、学んだことを実生活で応用できる実践力や、生活環境を変えることのできる力を持った子どもを育成できるような実力を備えた家庭科教員を育成します。家庭科の深い学びが、きっとあなたの生活や人生も変えてくれることと思います。

学生の声



● **森井 夏末** さん
もりい なつみ

家政教育コースでは、私たちの日常生活の基盤である衣食住や家族との関わりなどの「家庭科」に関する専門的な学修をします。調理や被服などの実践的・体験的な活動や家庭経済・消費生活や環境など幅広い内容について専門的に学ぶことができるので、家庭科教員に必要とされる資質・能力を十分に身に付けられます。

また、子どもを大学に招いてのイベントなどを企画・運営する経験もできます。このイベントは、コース全体の学生が関わって活動するため、他学年の学生とも学びあうことができます。教員になりたい方や家庭科に興味がある方は、私たちと一緒に家政教育コースで楽しく学んでみませんか？

取得できる免許

初等教育選修は小学校、中等教育選修は中学校（家庭）の免許を取得します。ただし選修に関わらず、多くの学生が両免許を取得しています。また、多くの学生が高校（家庭）の免許も取得しています。そのほかにも、必要な単位を修得すれば、幼稚園、司書教諭等の資格も取得できます。

英語教育コース

【募集人員】
初等教育選修（前期6名）、中等教育選修（前期7名）



英語教育コースはグローバル化にふさわしい資質と能力を持った英語教員を養成するコースです

英語教育コースでは、英語の実践的能力を身につけるとともに、英語の歴史的・社会的背景、英語圏の文学や文化、英語教育法を総合的に学び、確かな英語力、言語感覚、グローバルな感覚の習得を目的としています。

英語教育コースのカリキュラムは英語学・英語文学・英語教育・異文化理解・英語コミュニケーションの分野からなり、さまざまな側面から英語に親しんでいきます。英語コミュニケーションの分野では英語会話や英作文など実用英語のスキルを習得し、英語学、英語文学、英語教育、異文化理解などの専門分野では、講義と演習を通して英語教員に求められる専門的知識を身につけていきます。インターネットを用いて米国の大学との遠隔授業も行っています。

英語学

英語学の分野では、英語の仕組みや働きを実例の観察・分析を通して多角的に研究し、その成果を中学校・高等学校における指導に活かすことをめざします。また、英語が実際に使われている状況、英語が今日「国際共通語」と呼ばれるに至った経緯などを、さまざまな文献資料を通して学んでいきます。

英語教育

英語教育の分野では、言語習得理論から小学校・中学校・高等学校における具体的な英語指導法まで、英語教育全般にかかわる事項を学びます。また、学習指導案作成・模擬授業や学校訪問を通して授業実践力も育みます。

英語文学

英語文学の分野では、英語圏の有名な詩や小説や劇などの文学作品を原書等で読み、英語文学を体験します。具体的な作品読解を通して英語文学に親しむだけでなく、その背景となっている英米の文化や世界観にも触れ、同時に文学テキストの分析方法についても理解を深めます。

異文化理解

異文化理解の分野では、異文化コミュニケーション全般の基礎知識を習得すると共に、英語を中心とする言語表現、言語行動の背後にある英米文化における考え方、信念、理念、価値観を学び、コミュニケーション上の異文化理解を深めます。



オークランド大学教育研修



米国の大学との遠隔授業



教育実地研究での授業実践



卒業生による教員採用試験対策講座

教員の声



● **金子 淳** 教授
かねこ じゅん
【担当科目】
英語文学概論、英語文学講義演習Ⅱ（アメリカ）、英作文Ⅶ（ペーパーライティング）など
【専門分野】
英語文学、英語教育

英語が好きで、英語力を高めたい、英語という言葉や英米文化に関心があり、英語の諸相について深く学びたいという意欲のある人をお待ちしています。将来、英語の世界の魅力、英語を学ぶ楽しさや意義を、身を持って児童・生徒に伝えていけるような先生を目指しませんか。英語教育コースでは英語学、英語文学の専門知識に基づき英語を科学や芸術として扱える力を培い、異文化理解を深めます。さらには言語習得の知識に裏打ちされた英語科教育法を学びます。豊かな英語の世界観を持った先生がたくさん巣立っていただけることを願っています。

学生の声



● **桑名 克紀** さん
くわな かつき

英語が好きで、英語力を高めたい人、将来英語の先生になって英語の楽しさ、重要性を子どもたちに教えたい人、ぜひお待ちしております。このコースでは「英語教育」、「英語学」、「英語文学」、「異文化理解」を学ぶことができます。各分野に専門知識のある先生方がいらっしゃり、どの授業も内容が濃く、非常に学ぶ事が多いです。また、外国人の先生の授業ではAll Englishで授業を受けます。そのため、4技能がバランスよく身に付きます。「英語教育コース」の授業ではプレゼンテーションをさせていただく機会が多くあり、教師として必要な力を身に付けることができます。また、三重大学には留学制度も豊富です。具体的に私は、ニュージーランドでのオークランド教育研修、マレーシアでのタチ大学英語研修に参加しました。前者は外国での教育に関して現地で授業を見て学ぶことができ、またホームステイも経験できます。後者は実際に現地の学生と一緒に生活を共にしたり、文化を学んだり、英語の授業を受けたりできます。ぜひ、立派な英語の先生になるために私たちとともに学びませんか。お待ちしております！

取得できる免許

初等教育選修は小学校、中等教育選修は中学校（英語）の免許を取得します。大部分の学生は両免許、さらには、高校（英語）の免許を取得しています。

特別支援教育コース

【募集人員】
前期11名、後期7名



基礎免許（小学校／中学校）と、特別支援学校の免許状、
両方の取得を目指すコースです

子ども一人ひとりの特別な教育的ニーズ（発達の遅れ、他者とのかかわりの苦手さ、学習のつまずき、身体の動きの制約、疾患による制約や後遺症の影響など）に目を向け、適切な支援ができる教員等を育成するコースです。

全ての教育機関（幼稚園、小学校、中学校、高等学校等）において、特別支援教育が行われています。特別支援学校のみならず、地域の学校園にも特別な教育的ニーズを有する子どもが多く在籍しています。現在、ほとんどの学校園には「特別支援教育コーディネーター」という役割の教員がいます。すべての子どもたちの教育を支える上で、特別支援教育は欠かすことのできない基盤であり、そのプロフェッショナルとして現場で活躍できる教員を養成しています。

教員の専門分野について

特別支援教育コースには、5名の教員がいます。教育学担当の教員が2名、医学担当の教員が1名、心理学担当の教員が2名です。免許状に対応する「知的障害」「肢体不自由」「病弱」の分野について学びほか、「発達障害」「重度重複障害」「視覚障害」「聴覚障害」などについても学びます。5名の教員で複数の分野をカバーしています。その分、学生と教員が接する機会が多いのが当コースの特徴です。

学生の活動について

特別支援教育コースの学生は、1年次からさまざまなボランティア活動を行っています。大学祭においては、特別支援学校等の児童生徒を招待し、「こどもまつり」（写真参照）を企画しています。学修だけでなく課外活動も充実しているのが本コースの特徴です。



ボランティア活動の様子



コースの学位記授与

教員の声



● **森 浩平** 准教授
もり こうへい
【担当科目】
知的障害教育論、
知的障害者の心理・生理・病理、
知的障害教育Ⅱ など
【専門分野】
特別支援教育、障害児心理

特別支援教育コースは、子ども一人ひとりの特別な教育的ニーズ（発達の遅れ、他者とのかかわりの苦手さ、学習のつまずき、身体の動きの制約、疾患による制約や後遺症の影響など）に目を向け、適切な教育や支援ができる教員等の育成を行うコースです。特別支援学校のみならず、地域の学校にも特別な教育的ニーズを有する子どもたちが多く在籍しています。幼児児童生徒の心に寄り添い、多様性を尊重した望ましい教育や支援の在り方について、講義だけでなく、交流や実践、教員・学生相互の議論等を通して学ぶことができます。

学生の声



● **大久保 凱斗** さん
おおくぼ かいと

特別支援教育コースでは、自分の学びたい障害だけでなく、幅広く様々な視点から障害の特性や支援の仕方を学ぶことで、新たな発見や今自分が学びたいことをさらに具体的にできるなど特別支援教育に興味がある人もない人も講義を受けていて楽しいと思えるコースです。また、本コースでは主免許を小学校か中学校を選ぶことができ、副免許は主免許によりますが高校や幼稚園が取ることができ、自分がしたいことを幅広い選択肢の中から考えることができます。他にも、ボランティア活動を多く行っているため話を聞くだけでなく実際に足を運び参加したり、自らボランティアを企画し支援の内容を考えたりなど講義内で学んだことを活かせることができます。このように幅広く様々な視点を学び新たな発見ができるのが本コースの特徴です。

取得できる免許

小学校あるいは中学校の免許を取得します。
加えて、特別支援学校の免許の取得が必須ですので、本コースでは、必ず2つの免許（小学校+特別支援学校、中学校+特別支援学校）を取得します。
その他、幼稚園や高校の免許の取得も可能です。

幼児教育コース

【募集人員】
前期10名



人生で大切なことの多くは
乳幼児期の体験を通して学ぶ

子どもを大切に思い、その幸せを願い、そして彼らがたくましく生きるための根っこ力を育てる。
幼児教育コースでは、子どもを主体とした保育・幼児教育の専門家を育てます。

この世界は大人にとっては「あたりまえ」のものであふれているかもしれませんが、幼い子どもにとってはそうではありません。子どもは身近な環境にあるモノやコトに興味を示し、驚いたり不思議がったりしながら主体的にかかわり、そして、遊びへとふくらませ、遊びを通して様々なことを学んできます。子どものそばにいる保育者が適切なかわりをすれば、その学びはよりいっそう意味のあるものとなります。

本コースの4年間の学びでは、まず、保育者に必要な幅広い教養と基礎知識を身に付け（1年次）、次に、保育の基礎理論を学び、保育参加を通して保育技能を磨いていきます（2年次）。さらに、理論をふまえた保育実践を自らが展開することを通して専門性を高め（3年次）、最後に、自らの保育実践を持ち寄り、理論と照らし合わせつつ対話を重ねることで専門性を深めます（4年次）。

幼児教育学

自ら育とうとする子どもの遊びを通した育ちや学びを大切にする乳幼児期の教育・保育について学びます。子どもを取り巻く環境や保育者の役割について、社会、歴史、文化等、様々な視点から考えます。

幼児心理学

乳幼児期の子どもの心身の発達と発達の視点に基づく保育方法について学びます。子どもの発達プロセスについて知ることは、子どもの本当の思いに気づき、遊びを通して子どもの力を伸ばすことに繋がります。



附属幼稚園の園庭



幼稚園での初めての美地観察



未就園児の会での絵本の読み聞かせの様子



学生たちが製作したペーパークラフト

教員の声



● **富田 昌平** 教授
とみた しょうへい
【担当科目】
子ども理解の理論と実践、
子どもの理解と援助、
子ども家庭支援の心理学 など
【専門分野】
幼児心理学、保育学

幼児教育コースでは、幼児教育学、幼児心理学、保育内容のほか、福祉学、小児保健学・栄養学など、子どもの乳幼児期に関する理論や実践等の学習を通して乳幼児の望ましい成長・発達について体系的に学ぶことを目的としています。入学後、基礎から専門へ、学ぶ主体である学生の学習の興味や関心にそってカリキュラムが構成され、4年間で必要とされる幼児教育・保育に関する学習内容を履修できるようになっています。また、附属幼稚園や近隣の幼稚園・保育園等との連携に基づく豊富な体験と学内での理論的・実践的な学びとの往還を通して、高度な専門性を得ることができます。少人数ですが、タテとヨコのつながりを密にしなが、4年間楽しく学びましょう。

取得できる免許

幼稚園教諭一種免許状、保育士資格を取得します。
必要な単位を修得すれば、小学校教諭一種免許状も取得できます。

学生の声



● **宇佐美 綾音** さん
うさみ あやね

幼児教育コースは、乳幼児の成長発達や子どもとの関わりについてなど保育について様々な視点から学ぶことができます。附属幼稚園や保育所での実習・実践の機会も多く、子どもと一緒に関わるなかで様々なことを感じるすることができます。1学年10名ほどの少数であるため、授業ではアイデアを出しあったり、一緒に作ったりなどコースのみんなで協力し、支えあっています。他学年との交流の機会もあり、一緒に授業を受けたり、実習でどのようなことを感じたかを聞いたりなど横だけでなく縦のつながりもあります。また、先生方のサポートが厚く、授業でわからないことはもちろん将来の進路などどのようなことでも自由に質問することができます。学生、先生方も含めて幼児教育コースがひとつのチームだと感じることが多く、とても心強いです。ぜひ私たちと一緒に幼児教育コースで4年間楽しく学びましょう！

学校教育コース

教育学専攻

〔募集人員〕
推薦3名、前期7名



学校での問題を教育学を通して
解決できる人を育てます

学校教育現場の多側面で活躍できる能力を育成する総合的なカリキュラムがあります。
教育学の豊富な知見を学ぶ授業とともに、それらを現場で生かすための実践的な科目が準備されています。

教育学専攻は、教科内容ではなく教科を越えた「教えること」に関わる内容を中心に学びます。そのために、教育学のスタッフが、教科の学習指導の根本となるような事柄（教育の哲学、教育方法など）や、いじめ・不登校・学級崩壊など学校の諸問題、そしてより大きな教育システム（教育制度、諸外国の教育など）に関わる事柄など、教育に関わる幅広い理解ができるカリキュラムを用意しています。

本専攻は、小学校一種免許の取得が卒業要件となっており、必要な単位を取得すれば、中学校、高等学校、幼稚園、特別支援学校の一・二種免許の取得が可能です（中学・高校の免許については教科によって取得できない場合もあります）。他に、学校図書館司書教諭の資格の取得も可能です。

教育学専攻には、以下のような特色ある授業科目があります。

教育の哲学

学校教育で扱われている諸テーマについて、それらがなぜ教育上価値あるものとされるのかについて考えます。例えば、経験によっては獲得されない知が教育において有する意味について探求します。

子どもの生活と教育

子どもたちが自分たちの生活における様々な問題を発見し、その解決に向けた取り組みを続け、その過程で学び合っていくような教育の意義と可能性を追求します。

学校教育実地研究

学校教育に関係する様々な活動に関わることを通して、現場で生かせる力を育てます。

教育学研究演習

自身の関心に即して研究テーマを設定し、それぞれのテーマをもったメンバーとの活発な議論を重ねながら、探究を進めていきます。



教員の声



● **大日方 真史** 教授
おびなた まさふみ
【担当科目】
子どもの生活と教育、
学級の子どもの学、
教育実践研究法 など
【専門分野】
教育方法学・生活指導論

教育学専攻は、小学校免許を必須としていますが、多くの学生は、幼稚園や特別支援、また中学校の免許も取得します。学生の気質（かたぎ）としては、子どもが好きで、子どもの発達や内面に関心のある人が多いです。カリキュラムとしては、理論と実践の融合を目指し、哲学や理念を持って、専門的な共同体をつくりながら教育実践をデザインできる教師（カリキュラムや授業づくり、そして生活指導の力を持つ）を育てます。また実際に学校現場に足を運んで活動する実地研究科目を早期（1年生）から設定し、教育の現代的諸問題に対する課題解決能力を育てています。

学生の声



● **三輪 二千華** さん
みわ にちか

学校教育コース教育学専攻は、何かの教科に特化するとは異なり、いじめ・不登校など学校の諸問題、そして教育哲学や教育方法学など様々な学問分野から教育そのものについて学ぶことができる専攻です。具体的な授業として、様々な先生から多様な教育テーマについて学ぶ「学校教育最先端セミナー」（1年次受講）があります。また、1年生のうちから地域の学校での学習支援活動に参加する機会もあります。2年生以降にも教育を幅広く学べる授業や実践の場が用意されています。このように、自分の興味を深めて学びながら、早くから沢山の実践活動ができることが教育学専攻の特徴です。これらのカリキュラムを通じて、教育に関する課題について幅広い視点で考える力を獲得し、教育現場における実践に役立つ力へと繋げて成長していくことができます。

取得できる免許

小学校一種免許。
必要な単位を取得すれば、中学校、高等学校、幼稚園、特別支援学校の一・二種免許の取得も可能。
（中学・高校の免許については教科によって取得できない場合もあります。）

学校教育コース

教育心理学専攻

〔募集人員〕
推薦3名、前期7名



学校での子どもの問題を
心理学的側面から支援できる人を育てます

学校教育のなかで、心理学は古くから学習・発達・対人関係・こころの問題などに関する数多くの知見を提供しています。
教育心理学専攻では、心理学の方法論を学び、専門的知識を持つ教師として、学校現場で活躍できる人材の育成を目指します。

教育心理学専攻は、心理学の基本的な内容を中心に学びます。

学校教員として必要な心理学の素養を身につけてもらうため、教授法や学習心理学の分野、発達や認知心理学の分野、社会心理学やコミュニケーションの分野、発達臨床や心理的援助の分野を学んでいきます。また、大学での学習にとどまらず、県内の小学校などでの教育実践の機会も積極的にとりいれています。

本専攻は、小学校一種免許の取得が卒業要件となっており、必要な単位を取得すれば、中学校、高等学校、幼稚園、特別支援学校の一・二種免許の取得が可能です（中学・高校の免許については教科によって取得できない場合もあります）。他に、学校図書館司書教諭の資格の取得も可能です。

教育心理学専攻には、以下のような特色ある授業科目があります。

発達臨床

子どもの事例をとりあげながら、心理面や認知面に配慮した具体的な援助方法について学んでいきます。

心理データ解析

心理学の研究法として、質問紙調査法の実施方法とデータの統計的分析手法を学びます。

行動科学基礎実験法

心理学における実験法、観察法および心理測定法の基本を学びます。授業はグループ形式で進められます。

学校教育実地研究

学校教育に関係する様々な活動に関わることを通して、現場で生かせる力を育てます。



教員の声



● **南 学** 教授
みなみ まなぶ
【担当科目】
発達心理学、認知発達心理学、
行動科学基礎実験法、
思考の教育 など
【専門分野】
発達心理学、教育心理学

学校教育コースでは、各科目の学習を行う他コースと比べ、学校教育そのものへの深い学びを得ることができます。過去と未来をつなぐ教育において、現代の課題を検討し、改善を模索することは非常に重要です。そこで教育心理学専攻では、心理学を基礎発展まで幅広く学び、専門的な観点から学校教育を見つめ直すことができます。心理学を学習する中で、子どもの様子を観察・考察する力や、学校集団における知見が得られるのも特徴です。また、同学校教育コース教育学専攻の学生と共に学ぶ機会が多く、学生同士の関わりも密にあります。お互いに刺激し合い、より広い視野を身につけることができます。実地研究などの実践的な活動が多いことも、このコースの特徴です。

取得できる免許

小学校一種免許。
必要な単位を取得すれば、中学校、高等学校、幼稚園、特別支援学校の一・二種免許の取得も可能。
（中学・高校の免許については教科によって取得できない場合もあります。）

学生の声



● **加藤 京示朗** さん
かとう けいじろう

学校教育コース教育心理学専攻では、教員免許の取得を目指しながら、心理学の専門的な学びを深めることができます。このコースでは、学校教育そのものに焦点をあて、子どもたちが過ごす「学校」という場を、心理学の視点から幅広く学びます。「心理」と名のつく専攻ですが、将来教員として子どもと向き合うための実践的な学びが多く、教員免許取得に重きが置かれています。教育の過去・現在・未来をつなげて考える力や、現代の教育課題に向き合う姿勢を養うことも大切になっています。また、学校教育コース内には教育学専攻の学生もあり、専攻をこえて協力しながら学ぶ機会もたくさんあります。和気あいあいとした雰囲気の中で、仲間と切磋琢磨しながら広い視野を育むことが可能です。実地研究や現場での実習など、実践的な活動も多く、将来に直結する学びを実感できるのも魅力です。

附属教職支援センター

教員を目指す学生の学びをサポートします

附属教職支援センターは、英語で Center for Future Teachers and School Support と表記します。
「Future Teachers 未来の教員」とは、教育学部で学びたい皆さんです。
将来、幼・小・中・高・特支学校等で教員になりたい夢をサポートします。

● 教員養成支援 ●

学校現場経験者を中心とする専任スタッフが、
教員採用試験合格まで手厚くサポートします。

● 研修開発支援 ●

教育に関する今日的な課題に取り組む
研修・研究をサポートします。

2つの完全サポート

「完全サポート①」のような職業意識を高めるための教育的支援や就職に役立つような学修に対して、**約9割**の学生が**「満足」と回答**しており、この割合は年々向上しています。

「完全サポート②」では、集団討論練習や模擬授業練習等の教員採用試験セミナーを**年間170回以上**実施し、延べ約4,000人以上の学生が参加しています。この活動に7回以上参加した学生の**約9割**が教員採用試験に**合格**しています。

完全サポート①

教員としての
力量形成のための学修を
完全サポート

＊
教育実践力を育成する
カリキュラムと
キャリアシステムを完備
＊

＊半期ごとに学修を振り返り、4年間の学びの軌跡を可視化していきます。

＊教職大学院の現職教員院生との対話などを通じて、教職への意欲を高める取り組みを行なっています。

4月: 学びのあしあとの会
(大学での学び方)

9月: 学びのあしあとの会
(前期学修の振り返り)

2月: 学びのあしあとの会
(次年度学修に向けて)

2月: 学びのあしあとの会
(教育実習に向けて)

2月: 学びのあしあとの会
(最終年次に向けて)

2月: 学びのあしあとの会
(教員育成指標の到達度評価)

キャリア教育入門

介護等体験

教育実習 (4週間)

教育実習 (2週間)
教職実践演習

完全サポート②

教員を目指す学生の
就職を
完全サポート

＊
校長・教育行政経験者等による
指導体制を完備
＊

1年次

2年次

3年次

4年次

プレアシスタント

教育アシスタント
教育ボランティア

教員採用試験セミナー

● 大学近隣の幼稚園、小・中学校における活動

● 三重県内の学校現場等における活動

● 附属学校園 (幼稚園、小・中学校、特別支援学校) における活動

● 自治体別教員採用試験説明会

● 新入生オリエンテーション

● 個人面接練習

● 集団面接練習

● 集団討論練習

● 幼稚園・保育園面接実技対策

● 論作文・論述対策指導

● 小学校実技対策

● 小学校英語リスニング対策

● 模擬授業練習

● 場面指導練習

● 全国模試



入試情報

令和7年度入学状況

(単位:人)

課 程	学校教育教員養成課程																								
コース	国語教育コース						社会科教育コース						数学教育コース				理科教育コース				音楽教育コース				
選 修	初等教育			中等教育			初等教育			中等教育			初等教育		中等教育		初等教育		中等教育		初等教育		中等教育		
日 程	南部	全域	前期	後期	前期	後期	南部	全域	前期	後期	前期	後期	南部	全域	前期	前期	南部	全域	前期	前期	南部	全域	前期	後期	前期
募集人数	※	※	11	3	7	2	※	※	8	2	5	2	※	※	11	10	※	※	10	9	※	※	4	3	3
志願者数	0	2	23	16	33	35	0	1	15	33	27	34	0	1	11	49	0	2	14	17	0	0	4	11	3
受験者数	0	2	21	5	30	12	0	1	14	10	27	9	0	1	11	47	0	2	12	15	0	0	4	1	3
合格者数	0	2	9	4	7	2	0	1	8	2	5	3	0	0	11	10	0	1	10	9	0	0	4	1	3
入学者数	0	2	8	4	7	2	0	1	7	2	4	3	0	0	11	10	0	1	8	8	0	0	4	1	3

課 程	学校教育教員養成課程																							
コース	美術教育コース				保健体育コース				技術・ものづくり教育コース						家政教育コース				英語教育コース					
選 修	初等教育			中等教育	初等教育			中等教育	初等教育			中等教育	初等教育			中等教育	初等教育			中等教育	初等教育			中等教育
日 程	南部	全域	前期	前期	南部	全域	前期	後期	前期	後期	南部	全域	前期	推Ⅰ	前期	推Ⅱ	南部	全域	前期	前期	南部	全域	前期	前期
募集人数	※	※	6	3	※	※	6	3	5	3	※	※	5	1	4	3	※	※	5	5	※	※	6	7
志願者数	0	0	14	8	0	2	12	17	17	22	0	0	8	1	9	5	0	0	7	6	1	4	7	15
受験者数	0	0	14	7	0	2	11	5	14	8	0	0	8	1	9	4	0	0	6	6	1	4	4	15
合格者数	0	0	6	3	0	1	6	3	5	3	0	0	6	1	5	3	0	0	5	5	1	1	4	7
入学者数	0	0	5	2	0	1	6	3	5	2	0	0	5	1	5	3	0	0	5	5	1	1	4	7

課 程	学校教育教員養成課程																教育学部合計					
コース	特別支援教育コース				幼児教育コース			学校教育 (教育学専攻)				学校教育 (教育心理学専攻)										
選 修	—				—			—				—										
日 程	南部	全域	前期	後期	南部	全域	前期	推Ⅰ	南部	全域	前期	推Ⅰ	南部	全域	前期	推薦	南部	全域	前期	後期	合計	
募集人数	—	※	11	7	—	※	10	3	※	※	7	3	※	※	7	10	※	※	165	25	200	
志願者数	0	0	15	57	0	4	24	13	0	2	17	15	0	0	24	34	1	18	379	225	657	
受験者数	0	0	15	23	0	2	21	13	0	2	16	15	0	0	23	33	1	16	353	73	476	
合格者数	0	0	12	7	0	2	9	3	0	1	6	3	0	0	8	10	1	9	163	25	208	
入学者数	0	0	12	7	0	2	9	3	0	1	5	3	0	0	8	10	1	9	153	24	197	

注1) 各コースの志願者数、受験者数は第1志望の集計です。合格者数は正規合格者、入学者数は正規入学者。
注2) 「推Ⅰ」は推薦Ⅰ、「推Ⅱ」は推薦Ⅱ、「南部」は地域推薦 (三重県南部地域)、「全域」は地域推薦 (三重県全域) の募集であることを示します。

令和8年度入学定員

(単位:人)

課 程	学校教育教員養成課程																													
コース	国語教育コース						社会科教育コース						数学教育コース				理科教育コース				音楽教育コース									
選 修	初等教育				中等教育		初等教育				中等教育		初等教育				中等教育		初等教育				中等教育		初等教育				中等教育	
日 程	南部	全域	前期	後期	前期	後期	南部	全域	前期	後期	前期	後期	南部	全域	前期	前期	南部	全域	前期	前期	南部	全域	前期	後期	前期	後期				
募集人数	※	※	11	3	7	2	※	※	8	2	5	2	※	※	11	10	※	※	10	9	※	※	4	3	3					

課 程	学校教育教員養成課程																							
コース	美術教育コース				保健体育コース						技術・ものづくり教育					家政教育コース					英語教育コース			
選 修	初等教育			中等教育	初等教育			中等教育	初等教育			中等教育	初等教育			中等教育	初等教育			中等教育	初等教育			中等教育
日 程	南部	全域	前期	前期	南部	全域	前期	後期	前期	後期	南部	全域	前期	推Ⅰ	前期	推Ⅱ	南部	全域	前期	前期	南部	全域	前期	前期
募集人数	※	※	6	3	※	※	6	3	5	3	※	※	5	1	4	3	※	※	5	5	※	※	6	7

課 程	学校教育教員養成課程														教育学部合計					
コース	特別支援教育コース			幼児教育コース		学校教育 (教育学専攻)				学校教育 (教育心理学専攻)										
選 修	—			—		—				—										
日 程	全域	前期	後期	全域	前期	推薦	南部	全域	前期	推薦	南部	全域	前期	推薦						
募集人数	※	11	7	※	10	3	※	※	7	3	※	※	7	10	※	※	165	25	200	

注1) 募集人数については変更する場合があります。前期・後期の日程で、初等・中等の選修があるコースにおいては、初等及び中等の併願ができます。
注2) 「推Ⅰ」は推薦Ⅰ、「推Ⅱ」は推薦Ⅱの募集であることを示します。
注3) 「南部」の※は地域推薦 (三重県南部地域) で募集があることを示します。なお、地域推薦 (三重県南部地域) の合格者は各コース1名以内、合計5名以内とします。また、合格者があった場合は前期日程の定員を充当します。
注4) 「全域」の※は地域推薦 (三重県全域) で募集があることを示します。なお、地域推薦 (三重県全域) の合格者は、前期日程初等教育選修の募集定員 (選修の別がないコースは前期日程の募集定員) が5名以下のコースは1名以内、6名以上の場合は2名以内) とします。また、合格者があった場合は前期日程の定員を充当します。

進学

大学院で学ぶ

三重大学大学院教育学研究科教職実践高度化専攻(教職大学院)は、「学校経営力開発コース」と「教育実践力開発コース」から構成されています。さらに、学校経営力開発コースには「経営力開発分野」と「学習開発分野」が、教育実践力開発コースには「教科教育高度化分野」と「特別支援教育分野」が設置されています。

大学院教育学研究科 教職実践高度化専攻

● 目的 ●

本教職大学院(三重大学大学院教育学研究科教職実践高度化専攻)は、三重県における喫緊の教育課題に取り組むため、学校を変える推進者としてのスクールリーダーとなる現職教員、将来的に地域教育を支えるミドルリーダーとなる資質・力量のある新入教員を養成することを目的としています。

入学者受入れの方針

(アドミッション・ポリシー)

学級・学校経営、学習指導方法の開発・改善、生徒指導・教育相談、教育課程、教師教育等における様々な今日的課題の解決、または教科の専門性や特別支援教育、幼児教育の知識・技能の習得による実践的授業力の向上のため、確かな指導理論の構築を目指し、より高度な実践力と応用力を身につけたい人。

現職教員

学校現場での経験に基づき、教職大学院での明確な研修テーマや課題を持ち、それらを協働で解決し、学校や地域において指導的役割(スクールリーダー)を目指す教員。

学部新卒者等

学校現場での実習や現職教員学生との協働により、教職に関する実践的な専門性や高度な実践力を身につけたい人。

●特に、次の3点を入学者に求めています。

- 【探究】学校・地域の教育課題をより広い視野で探究できる人
- 【協働】より柔軟な発想で協働的に学び続けることができる人
- 【創造】地域の教育の未来を創造することに強い思いを有している人
- 【入学者選抜方法】
本教職大学院の求める入学者を適正に受け入れるために、小論文および口述試験による選抜を実施します。詳しくは、三重大学教育学部・教育学研究科のホームページや募集要項をご確認ください。

学位授与の方針

(ディプロマ・ポリシー)

- 児童・生徒の実態や教育諸問題の理解に必要な専門的知識を修得している。
- 専攻するコース・分野に関する教育課題について理論的・実践的な研究能力を身につけている。
- 異文化・多世代の人と協働することや、省察的実践の意義を理解することができる。
- 自律性をもった高度専門職業人として、継続的に理論的・実践的研究に取り組むことができる。

教育課程編成・実施の方針

(カリキュラム・ポリシー)

本教職大学院は、教育に関する高度専門職業人を育成することを目的とし、以下の3つの授業科目群を配置し、理論と実践の往還を重視したカリキュラムを策定する。

- 共通科目群
- 選択科目群
- 中核(コア)科目群

● 学位と取得免許 ●

本教職大学院を修了すると教職修士(専門職)の学位が授与されます。また、教育職員免許法に定める所定の単位数を取得すれば取得単位に応じた専修免許状の取得資格が得られます。ただし取得には対応する一種免許状をすでに有している必要があります。

教職実践高度化専攻(教職大学院)

教職実践高度化専攻(教職大学院)は、「学校経営力開発コース」と「教育実践力開発コース」の2コースから構成されています。

大学院の構成

● 学校経営力開発コース

経営力開発分野(現職教員対象)

地域の教育改革を主導するスクールリーダーを育成します。

学習開発分野(学部新卒者等対象)

多様で複雑な教育課題に対応できる人材を育成します。

● 教育実践力開発コース

教科教育高度化分野(現職教員・学部新卒者等対象)

高度な教材開発力と授業力を持つ人材を育成します。

特別支援教育分野(現職教員・学部新卒者等対象)

特別支援教育に関する高度な専門性を持つ人材を育成します。

VOICE 修了生の声 ① 在籍区分および校種等 ② 教職大学院での学びを振り返って



阪本 明士 さん
(学校経営力開発コース 経営力開発分野修了)

- ① 現職教員学生として在籍／高等学校教諭
- ② この2年間の大きな財産は、学びを通して得た「人との出会い」でした。先生方、同期生の仲間、研究を通じて知り合った方々などから多くの刺激と気づき、勇気をいただきました。本来、学びは厳しいものでなければならぬと考えています。しかし、一人ではなかなかできないものです。背中を支え、時には押してくれた方々に感謝いたします。次は自分が子どもたちを支えなければいけないと思っています。



鈴木 理奈 さん
(学校経営力開発コース 学習開発分野修了)

- ① 学部新卒学生として在籍／2023年度より中学校教諭
- ② 私は「科学的に探究する力と態度を確実に育成する授業」について学びたいと考え進学しました。教職大学院で理論的な知識と学校現場での実践を融合させながら学ぶことにより、自身の「教育観」を様々な角度から見つめ直すことができました。この経験を積み重ねることにより、教師として教壇に立つ自信を持つことができました。ここで学んだことを活かし、これから現場での実践に励んでいきます。



若林 徳亮 さん
(教育実践力開発コース 教科教育高度化分野修了)

- ① 現職教員学生として在籍／小学校教諭
- ② 2年間は、正解のない問いを考える時間でした。ただ一つの正解を探すのではなく、仲間とともに一つの実践や一つの出来事に向き合うこと、その中で自分の枠を更新していくこと。実践のおもしろさと教育の奥深さを頭と心と身体で体験できました。同期の皆でそのような時間を過ごすことができたことが大きな財産です。これから大学院生でなくなっても続けていくことを課題としたいです。



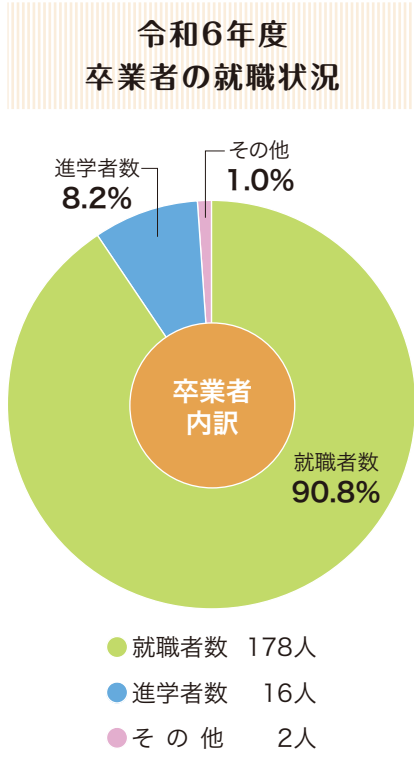
森井 集也 さん
(教育実践力開発コース 特別支援教育分野修了)

- ① 学部新卒学生として在籍／2023年度より特別支援学校教諭
- ② 教職大学院での2年を経て、より明るく、自然に子どもたちと関わるできるようになったと感じます。明るく、という点では子どもたちと日々関わりを重ねられたことが理由だと考えます。実習や、ボランティア等で現場に行く機会が多くあり、有意義な時間を過ごせました。また自然に、という点では子どもの反応が理論に則って整理できる場面が増えたことが理由だと考えます。来年度以降も、実践に関わりながら理論を学び続けていきます。

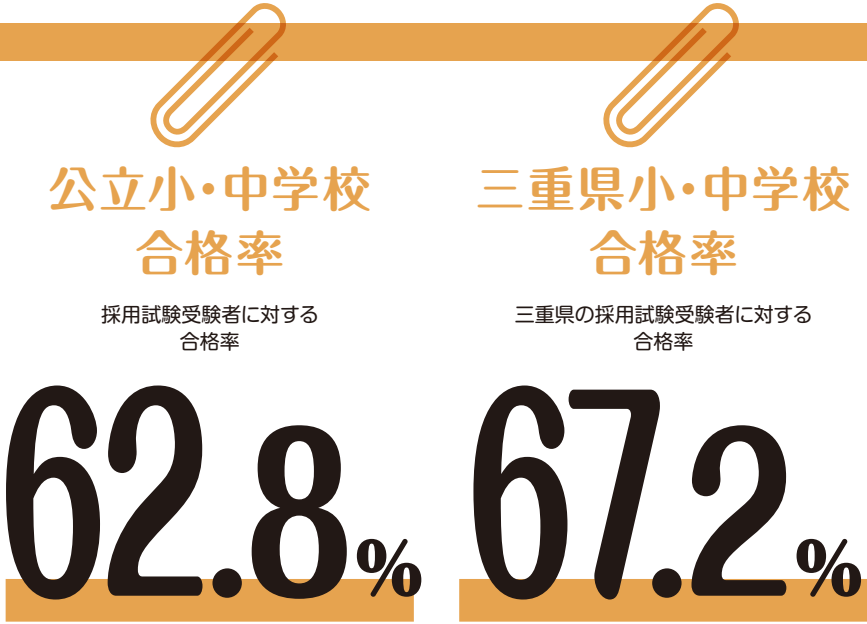
就職

優れた就職実績

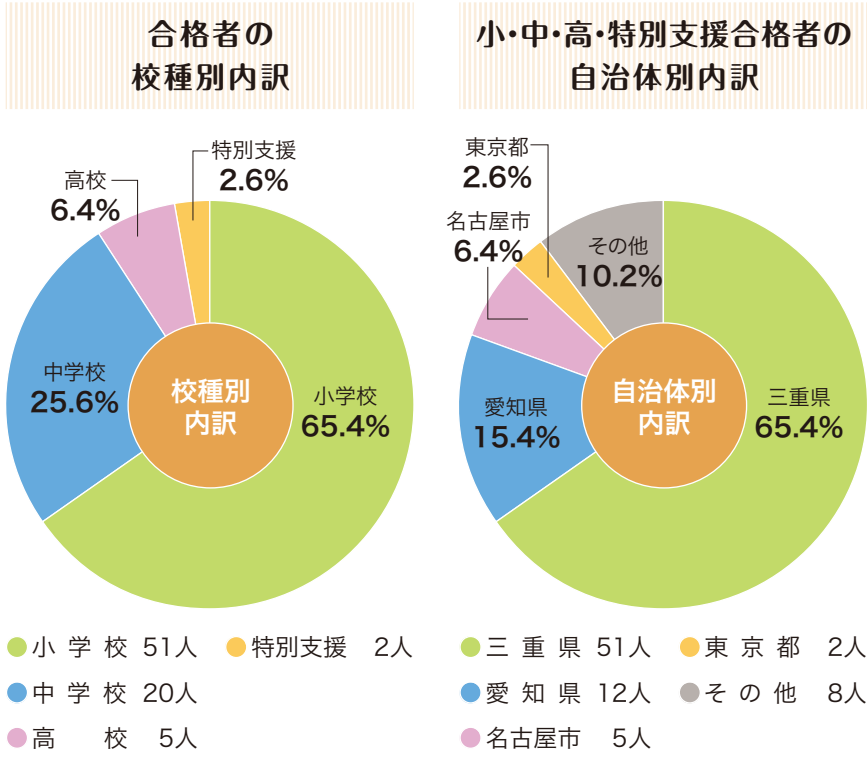
近年、全国的に教員採用数が増えてきています。講師への需要も高く、卒業生も教育の現場での就職が可能で、教員免許が必修の学校教育教員養成課程の学生はほとんどが教員となっています。教員以外では公務員や一般企業への内定が決まり、教育学部全体で見るとほぼ全学生が就職しています。



キャリア支援チームより 令和6年度就職状況



さらに…公立高校5名・特別支援学校2名が合格



三重大学教育学部教職支援室より 令和6年度採用試験合格状況

Q&A

教育学部の入試に関しては以下のページもご覧ください。
<https://www.edu.mie-u.ac.jp/exam/fc/index.html>

受験について

- Q 出願時に、コース間での併願はできますか？
- A 基本的にはできます。しかし、コースによっては、条件があったり受験科目が違ったりすることもあります。できないところもあるため、募集要項をよく読んで、出願してください。
- Q 三重大学教育学部について知ることができるものは、学部案内のほかに何がありますか？
- A 主に2つあります。1つ目は、直接話を聞いたり、見学ができたりする、教育学部のオープンキャンパスです。全体で教育学部についての話を聞いた後、各コースに分かれて説明や模擬授業が行われるため、それぞれのコースについても詳しく知ることができます。2つ目は三重大学や教育学部のホームページです。入試情報をはじめ、教員紹介や附属学校園について紹介されています。コースによっては、独自にホームページを立ち上げているところもあるので、検索してみてください。さらに、大学祭などの行事に参加した時には、学生や先生方に気軽に声をかけてみるのも一つです。

学生生活について

- Q 他コースの人との交流や教員との関係はどうですか？
- A 教育学部では、グループで協力する授業や教育実習もあり、自分のコースを超えて様々な人との交流があり、とても仲良くなれます。また、教員に対する学生数も少ないので教員との関係もふかく、より専門的な指導や相談などをすることができます。

就職について

- Q 教員採用試験対策はありますか？
- A あります。本学部には校長経験者からなる教職支援センター・教員養成支援部門があり、教員採用試験対策セミナーとして、面接練習（個人、集団）や小学校実技練習、教職教養・小学校専門DVD講座、学内模試等を行っております。
- 詳しくは → <https://www.edu.mie-u.ac.jp/education/teaching-pr/index.html> をご覧ください。

教育について

- Q 子どもとどのように接する機会がありますか？
- A 1年生から卒業に至るまで、実践的な授業を受講したりボランティア活動に参加したりすることなどによって、教育実習以外にも子どもたちと接する機会がたくさんあります。
- Q 教育学部で留学することはできますか？
- A もちろんです！教育学部が主催している海外教育研修のほか、協定を結んでいる学部間・大学間の交換留学があります。また、生協では留学プランを多数扱っています。留学は費用もかかりますし、期間についても1ヶ月程度の短期留学から半年・1年にわたる長期留学まで様々あるので、単位取得との兼ね合いを考えながら計画を立てることをお勧めします。
- Q 小学校の免許を取りたい場合、学校教育コースに入らないといけないですか？
- A 国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、技術・ものづくり、家政、英語の各コースに初等教育選修がありますので、こちらを選んでも小学校の免許が取れます。深く学びたい教科があるならこちらを選んでいいと思います。（この方が、その教科の中学校免許も取りやすくなります）。また、教科の初等教育選修では、専門的なことも学べますので、「絵の上手な先生」「算数の得意な先生」など、「何かに自信を持っている先生」になれるかもしれません。もし、特定の教科にこだわらず、「教えること」を学びたい、もしくは「学校での子供の心理的なこと」を学びたいなら学校教育コース（教育学専攻、教育心理学専攻）を選ぶといいと思います。こちらを選ぶと「学校現場の問題を、教育学を通して解決できる先生」「子どもの問題を、心理学的側面から支援できる先生」などになれるのではないのでしょうか。
- ※上記以外のコースでも、副免許として小学校の免許を取ることが可能です。

- Q 中等教育選修を目指していますが初等教育選修に入学しても中学校教員の免許が取得できますか？

A 初等教育選修で合格された場合でも、中学校教員免許の取得は本人の努力によって可能です。入学された大多数の学生は、自分の所属するコースで小学校・中学校・さらには高校などの複数校種の免許を取得して卒業します。

- Q 高校の教員免許を取得するにはどうしたらよいですか？

A 本学では中等教育選修で学修されると、卒業と同時に中学校免許が取得できるようにカリキュラムが組まれています。高校教員の免許は、同じ教科であれば中学校教員免許に必要な単位に、さらに8単位を加えれば取得が可能です。卒業に必ずしも必要ではない単位取得については、開講時間により計画通りに時間割が組めない可能性もあり、その点は工夫と努力が必要になります。なお、初等教育選修に入学された場合でも、必要な授業数はさらに増えますが上述のような工夫と努力次第で取得は可能となります。

コース別の進路状況

コース別の進路状況

過去3年間

※各コースの専門性等に基づき、本表の表記や内訳は厳密に統一されてはおりません。

コース		年度(卒業生)	内 訳
学校教育教員養成課程	国語教育コース	令和6年度	教諭9名(小学校6名、中学校3名)、講師4名(小学校1名、中学校3名)、私立中高一貫校1名、日本人学校1名、大学院進学3名
		令和5年度	教諭15名(小学校11名、中学校4名)、公務員1名、企業1名、大学院進学2名
		令和4年度	教諭15名(小学校11名、中学校4名)、大学院進学2名
	社会科教育コース	令和6年度	教諭6名(小学校6名)、講師9名(小学校8名、中学校1名)、大学院進学2名(うち1名高校教諭合格)
		令和5年度	教諭7名(小学校5名、中学校2名)、講師2名(小学校1名、中学校1名)
		令和4年度	教諭5名(小学校5名)、講師5名(小学校4名、中学校1名)、在外日本人学校1名、大学院進学4名
	数学教育コース	令和6年度	教諭9名(小学校4名、中学校5名)、講師7名(小学校1名、中学校5名、高校1名)、私立中高一貫校1名、大学院進学1名
		令和5年度	教諭2名(小学校1名、中学校1名)、講師3名(小学校1名、中学校1名、高校1名)、私立中高一貫校1名、大学院進学5名
		令和4年度	教諭10名(小学校4名、中学校6名)、講師4名(小学校1名、中学校2名、私立中高一貫校1名)、大学院進学1名
	理科教育コース	令和6年度	教諭8名(小学校6名、中学校1名、私立高校1名)、講師1名(中学校1名)、大学院進学2名
		令和5年度	教諭8名(小学校4名、中学校3名、高校1名)、講師1名(小学校1名)
		令和4年度	教諭12名(小学校5名、中学校6名、高校1名)、講師1名(小学校1名)、私立中等教育学校1名、非常勤講師1名(中学校1名)
	音楽教育コース	令和6年度	教諭3名(小学校3名)、講師3名(小学校2名、中学校1名)、大学院進学2名
		令和5年度	教諭2名(小学校1名、中学校1名)、講師1名(中学校)
		令和4年度	教諭4名(小学校4名)、講師1名(中学校1名)、大学院進学1名
	美術教育コース	令和6年度	教諭3名(小学校1名、中学校2名)、大学院進学1名
		令和5年度	教諭3名(小学校1名、中学校2名)、講師2名(中学校)
		令和4年度	教諭4名(小学校1名、中学校2名、高校1名)、講師2名(中学校1名、特別支援学校1名)
	保健体育コース	令和6年度	教諭5名(小学校5名)、講師4名(小学校3名、中学校1名)、私立高校1名
		令和5年度	教諭7名(小学校6名、中学校1名)、講師4名(小学校4名)、大学院進学1名
		令和4年度	教諭4名(小学校3名、高校1名)、講師2名(小学校2名)、大学院進学1名

コース		年度(卒業生)	内 訳
学校教育教員養成課程	技術・ものづくり教育コース	令和6年度	教諭4名(小学校1名、中学校3名)、講師2名(中学校1名、工業高校1名)、公務員4名
		令和5年度	教諭4名(小学校1名、中学校2名)、講師1名(中学校1名)
		令和4年度	教諭4名(小学校2名、中学校1名、特別支援学校1名)、講師1名(中学校1名)
	家政教育コース	令和6年度	教諭6名(小学校2名、中学校2名、高校1名、中高一貫校1名)、講師2名(小学校1名、中学校1名)、大学院進学2名
		令和5年度	教諭6名(小学校2名、中学校4名)
		令和4年度	教諭8名(小学校4名、中学校3名、高校1名)
	英語教育コース	令和6年度	教諭6名(小学校4名、中学校3名、高校1名)、私立中高一貫校1名、大学院進学1名
		令和5年度	教諭9名(小学校3名、中学校3名、高校3名)、私立中高一貫校1名、大学院進学1名
		令和4年度	教諭6名(小学校2名、中学校3名、高校1名)、講師1名(中学校1名)
	特別支援教育コース	令和6年度	教諭3名(小学校1名、特別支援学校2名)、講師3名(小学校1名、特別支援学校2名)、大学院進学1名
		令和5年度	教諭7名(小学校5名、中学校1名、特別支援学校1名)、講師1名(小学校1名)、私立中学校教員1名、福祉関係1名
		令和4年度	教諭7名(小学校5名、中学校1名、特別支援学校1名)、講師1名(小学校1名)、私立中学校教員1名、
	幼児教育コース	令和6年度	幼稚園教諭・保育士8名
		令和5年度	幼稚園教諭・保育士7名、小学校教諭2名
		令和4年度	幼稚園教諭・保育士7名、児童指導員1名
	学校教育コース 教育学専攻	令和6年度	教諭4名(小学校4名)、大学院進学1名
		令和5年度	教諭5名(小学校5名)、講師1名(小学校1名)
		令和4年度	教諭2名(小学校2名)、講師1名(小学校1名)、幼稚園教諭1名、保育士1名
	学校教育コース 教育心理学専攻	令和6年度	教諭5名(小学校5名)
		令和5年度	教諭6名(公立小学校5名、私立小学校1名)、講師2名(小学校1名、高等学校1名)
		令和4年度	教諭5名(小学校5名)

活躍する卒業生の声

Q.所属したコースを選んだ理由を教えてください。

A.中学生の頃から「中学校の国語の先生になりたい」と思っていたからです。小学校高学年の時の授業がきっかけで国語が好きになりました。また、幼い頃から先生との出会いに恵まれ、中学生の時に「こんな先生になりたい」と思う先生に出会いました。これらのことから中学校の国語の先生を志すようになりました。

Q.大学での一番の思い出は何ですか？

A.3年次、4年次の教育実習です。初めて「先生」として子どもと接し、自分の未熟さを痛感したと同時に、「先生になりたい」という気持ちが一層強くなりました。教育実習の際に毎日書いた日誌は実習の時の気持ちを忘れないようにするために家のすぐ目につく場所に置いてあります。

Q.社会に出た今、教育学部で学んだ専門知識の強みは何ですか？

A.教育実習はもちろんのこと、1年次から実際の授業を参観するなど、4年間を通して実践的な学びができたこと、ご専門の先生方のもと、同期や先輩方、後輩の皆さんと国語科について様々な面から専門的なことを学べたこと、この二つが大きいと思っています。



市川 健人 さん
国語教育コース 2019年卒業

鈴鹿市立
創徳中学校 勤務

Q.高校生へのエールを一言お願いします。

A.「今」というのは「過去」の積み重ねです。そして、「今」を積み重ねた結果が「未来」です。「未来の自分」を一番助けられるのは「今の自分」だと思います。未来の可能性を広げるのも狭めるのも自分次第です。ぜひ可能性を広げられるように頑張ってください。

Q.所属したコースを選んだ理由を教えてください。

A.私は、子どもの頃から小学校が大好きで、子どもたちと関わる仕事がしたいと思っていました。高校生の時に、三重大の教育学部に行って小学校の先生になりたいと思い、様々な教科の専門のコースがあることを知りました。そこで、高校の時に一番好きで面白いと思っていた教科が数学だったので、何か専門を極めるのなら、大学の4年間に数学をたくさん勉強して、算数に強みを持った小学校の先生になりたいと考えました。

Q.大学での一番の思い出は何ですか？

A.3年生の9月に行かせていただいた、大好きな母校での1ヶ月の教育実習です。大学生活の中で一番濃く、かけがえのない時間でした。私は、子どもたちに何かを教えるだけでなく、真っ直ぐな子どもたちから、人として大切なことや素直な気持ちなど、たくさんのことを教えてもらいました。自分自身も共に成長していけること、毎日に教えきれないぐらいの驚きや感動が詰まっていることを知りました。そこからは本気で教員採用試験の勉強をし、辛い時も同じコースの仲間がいたから乗り越えることができました。今でもずっと、心強い仲間です。

Q.社会に出た今、教育学部で学んだ専門知識の強みは何ですか？

A.算数について特に研究し、どのように伝えたら子どもたちに分かりやすいか考えてきたので、実際に授業をしたり、分からない子に教えたりするときに役立っています。また、大学では何よりも子どもの立場に立って考えることの大切さを学んだので、子どもたちの話をうなずきながら真剣に聞いたり、悩み事を共有して一緒に考えたり、一緒に遊んだり、常に子どもの立場に立って考えるように意識し続けています。



松本 理沙 さん
数学教育コース 2021年卒業

津市立
西が丘小学校 勤務

Q.高校生へのエールを一言お願いします。

A.私は高校生のとき、将来やりたいことを決めるのにはまだ早いと思っていました。でも、自分と向き合って本当に好きなことを考え、明確な進路を選びました。今思えば、この道を選んでいて本当によかったと思います。夢があるから、大学の4年間の学びが全て楽しく真剣に取り組むことができたし、その先に必要な専門知識を学ぶことができました。あとで先生になりたいと思っても、違う進路を選んでいたらなかったかも知れません。また、ここで出会えた仲間や先生が大好きで、大人になってもいつでも三重大が自分の心の居場所だと思って、心強く頑張れます。ぜひ、自分の一番好きなことを夢にして頑張ってほしいと思います。

Q.所属したコースを選んだ理由を教えてください。

A.中学生の時は、理科は好きでしたが、高校生の時に、分からないところが多すぎて苦手になりました。しかし、苦手なまま逃げ出したくなかったことと、中学生の時に楽しかった気持ちが忘れられなかったのも、もう一度しっかり理科を学びなおしたくて理科教育コースを選びました。

Q.大学での一番の思い出は何ですか？

A.大学2年生の時に興味をもった、アリの研究を続けたことです。アリの生態について知ることはもちろん、新型アリ飼育容器「不思議の国のアリ巣」を開発して、学会発表やイベントに参加したことが思い出です。また、同期の女子が私を含め8人いたのですが、彼女たちと過ごした日々も大切な思い出です。在学中に、海外の学校現場を見学する機会があり、日本とは異なる教材などにとっても刺激を受けたことも貴重な経験で、この経験が後にハンブルグ日本人学校での勤務につながりました。

Q.社会に出た今、教育学部で学んだ専門知識の強みは何ですか？

A.理科の知識などはもちろんのこと、実験の手順や方法など、細かい勉強ができたので、指導する側として生徒に伝える技術も向上したと思います。また、学生のと時から小中学生を対象としたイベントにも参加したので、様々な角度から理科と関わることもできることも強みです。



岡崎 こころ さん
理科教育コース 2015年卒業
大学院(理数・生活専修) 2017年修了

亀山市立
亀山中学校 勤務

Q.高校生へのエールを一言お願いします。

A.私は、大学で勉強したことによって、苦手なものが職業につながり、興味のなかったことに興味をもつことができました。何が起るかわからないのが人生です。今は夢が見つからなくても、日々の生活できっと何か目標が見つかると思います。日本国内だけでなく、世界に目を向けるきっかけになる研修などもあります。そんな素敵な環境が教育学部にはあります！

Q.所属したコースを選んだ理由を教えてください。

A.私は中学時代の部活動をきっかけに音楽に没頭する学生時代を過ごしました。その中で音楽の素晴らしさを伝えられる仕事はきっと楽しいはず、そう考えたのが音楽教員を目指すきっかけです。三重大ではピアノ、声楽など音楽教育に必要な幅広い専門技術を学ぶことができ、さらに教育関係の知識も得られることが魅力的で志望しました。

Q.大学での一番の思い出は何ですか？

A.音楽科の卒業公演であるファイナルコンサートです。企画・運営・広報など全て学生で分担して行うため、演奏会開催の苦労を学ぶと共に、演奏を通して様々な方への感謝や思いを伝えることができました。四年間過ごした仲間との最後の演奏会、今でもふと思い出す瞬間です。

Q.社会に出た今、教育学部で学んだ専門知識の強みは何ですか？

A.高校教育では進路指導の際、様々な教科の知識や教育的観点が必要になる場面が多く、三重大で学んだ教科教育法や一般教養がそういった場面での助けとなっています。特に生徒のカウンセリングや発達心理に関する部分は講義で学んだ知識が現場で非常に役立つことが多いです。



保々 武志 さん
音楽教育コース 2011年卒業

三重県立
神戸高等学校 勤務

Q.高校生へのエールを一言お願いします。

A.教員という職業は生徒の成長に携われる喜びややりがい在我々にもたらしてくれます。そして、芸術は人生を豊かにする最高の分野です。芸術の世界で人生を歩みたい高校生の皆さんにとって三重大は素晴らしい学び舎です。いつか共に仲間として現場に立てることを楽しみにしています。

Q.所属したコースを選んだ理由を教えてください。

A.小さいときから人と話すことが大好きで、人と関わる仕事に就きたいと思っていたので教育学部に進みました。家庭科を選んだ理由は、衣食住や消費など生活に直結したことを学ぶことができるので、将来教員にならなかったとしても生活を豊かに送るための勉強になると思ったからです。

Q.大学での一番の思い出は何ですか？

A.大学2年生の時に三重短期大学と合同で行った地域連携事業です。大門商店街に1日限定カフェを開きました。店内のレイアウトを考えたり、チラシの作成やSNSで情報を拡散したりと、とても貴重な経験になりました。自分たちで考えて何かを成し遂げることの大変さや楽しさを学ぶことができました。

Q.社会に出た今、教育学部で学んだ専門知識の強みは何ですか？

A.教育実習や教育ボランティア、附属学校での公開授業など実際の教育現場で経験を積む機会や、学ぶ機会がたくさんあったことです。子どもたちと直にふれあうことでしか得られない知識や考え方を学ぶことができました。現場実習で得た知識は今でも授業作りや生徒指導で役立っています。



伊藤 由理子 さん
家政教育コース 2020年卒業

桑名市立
光陵中学校 勤務

Q.高校生へのエールを一言お願いします。

A.悩んでいることがあれば「やってみよう」の精神で挑戦してみてください。失敗なんてありません。あるのはチャレンジしたかった自分と大切な経験です。人生1度きり！全部楽しんで！みんなの挑戦を応援しています。

Q.所属したコースを選んだ理由を教えてください。

A.中学校のときから英語が好きで、「将来は英語の先生になりたい」と考えていました。いざ大学進学を考えたときに、地元三重県で先生をするなら、三重大に進学するのが一番だと思い、教育学部の英語教育コースを選択しました。

Q.大学での一番の思い出は何ですか？

A.大学2年生の春休みにアメリカへ語学研修に行ったことです。そこで、自分は全く英語が話せないということに気がきました。今まで勉強してきたことは何だったのかと悔しい気持ちにもなりました。しかし、そこで出会った世界中から集まった友だちの前向きな姿から多くのことを学びました。英語は文法など知っているだけでは意味がなく、実際に使えないと意味がないということに気がされました。この考えは今も私の英語教育の根幹となっているものです。

Q.社会に出た今、教育学部で学んだ専門知識の強みは何ですか？

A.教育学部ではグループワークやプレゼンテーションの機会がたくさんありました。そこで学んだ「協力する力」や「伝える力」は、社会人になった今、相手の立場に立ったコミュニケーションや、後輩指導の場面で非常に役立っています。特に、誰にも分かりやすく説明する力や、相手の成長に寄り添う視点は、生徒への指導だけでなく、職場内の信頼関係構築にも活かされています。

Q.高校生へのエールを一言お願いします。

A.人生100年時代といわれる現代社会を生きていくためには、私たち一人ひとりが自律的に



庄山 大樹 さん
英語教育コース 2012年卒業

三重大学教育学部
附属中学校 勤務

な学習者であり続けることが求められます。教育学部では、そうしたこれからの社会に対応するための基礎力や実践力を身につけることができると考えています。教師という職業は、確かに大変なことも多いですが、生徒の成長を間近で感じられるという、何ものにも代えがたい達成感や充実感があります。そうした熱い思いを胸に、教育現場で活躍している先輩たちは数多くいます。「あなたは何期？」という言葉を変えれば、一気に距離が縮まり、つながりを実感できることでしょう。みなさんもそんな私たちの仲間に入りませんか？

Q.所属したコースを選んだ理由を教えてください。

A.将来は小学校の先生になりたいと幼い頃から思っていました。教科にとらわれず「教育」について考え、学びを深められることに魅力を感じてこのコースを選びました。また、子どもの発達や心の問題、対人関係などにも興味があったため教育心理学専攻を選びました。

Q.大学での一番の思い出は何ですか？

A.「志摩実地研究」です。2泊3日で小学校に行き、授業をしました。ペアを組み、ねらいや題材から授業内容まで全て自分達で計画し、私たちは「アサーション」というコミュニケーションスキルに関わる授業をしました。こういった、教科の枠をこえた授業を実践できたことは学校教育コースの強みだと思います。

Q.社会に出た今、教育学部で学んだ専門知識の強みは何ですか？

A.様々な子どもがいると知ったことです。教育支援センター(適応指導教室)に通う子ども達と関わってたくさん話や活動をしたり、授業で事例を扱ったりする中で「友達とうまくいかない」「自分を出せない」その背景には何があるのだろうかと考えました。一人ひとり違った背景を持っていることを知り、子どもをとらえる視点が広がりました。



中谷 紗也 さん
学校教育コース 2021年卒業

伊賀市立
久米小学校 勤務

Q.高校生へのエールを一言お願いします。

A.大学生活、とっても楽しいです！学部やサークル、アルバイトなどでの様々な人との出会い、大学祭や教育実習などの今までにはなかった経験。コロナ禍で例年通りにはいかないことも多々ありますが、それでも形を変えて必ず出会いや経験はあります。つらいコロナ禍を経験してきたからこそ得られる強さがあると思います。応援しています！

キャンパスマップ

三重大学 上浜キャンパス



教育学部校舎

A 専門校舎1号館



D 音楽棟



B 専門校舎2号館



E 美術棟



① 共通教育校舎 (全学共通教育センター)

全学部向けの共通教育が行われています。



② 図書館

90万冊に上る図書・雑誌を所蔵。オンラインジャーナルも充実し、学生の教育・研究活動を応援します。



③ 三翠ホール(講堂)

1650名を収容でき、入学式や学位授与式など全学的な式典・行事、全国的な学会や講演会が開催できる多目的ホールです。

C 技術棟

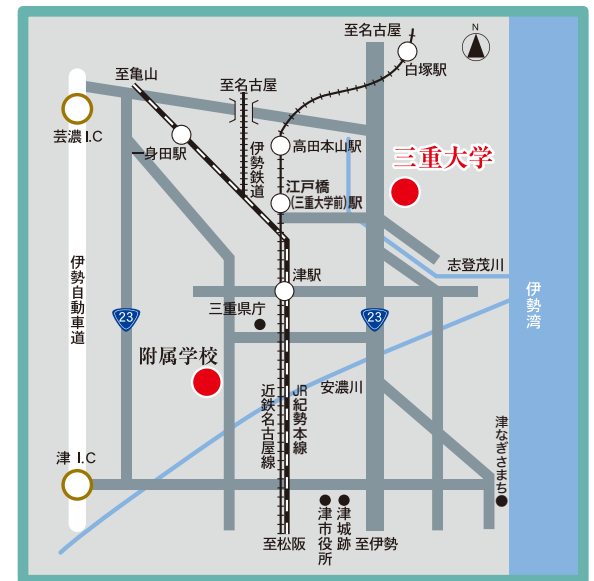


F 教職支援センター



アクセス

三重大学周辺MAP



交通案内

徒 歩

近鉄江戸橋駅から徒歩で15分

バス・タクシー

津駅前(津駅東口)バスのりば「4番のりば」からバスで約10分、三重交通バス「白塚駅」「棕本」「豊が丘」「サイエンスシティ」「三重病院」「東豊野」「高田高校前」行きに乗車「三重大学前」下車。
津駅からタクシーで約10分

電 車

近鉄急行
名古屋 — 江戸橋 約60分

近鉄特急
名古屋 — 津 約50分
難 波 — 津 約90分
京 都 — 津 約110分

(津駅で急行または普通に乗り換え)
津 — 江戸橋 約2分



その他

津エアポートライン(高速船)
中部国際空港(セントレア) — 津なぎさまち45分
1.三交バスで「津なぎさまち」から「津駅前」まで約15分、「津駅前」乗り換え「三重大学前」まで約15分
2.タクシーで津なぎさまちから津駅まで約15分、三重大学まで約15分